がで、KEドキル系の技能 ・年度歌覧より終一億六千

對日交渉協議に

▲張公傭氏(中國銀行總辦)同上

◆安藤文郎氏(外務省場託)同上●安藤文郎氏(外務省場託)同上

顏兩氏

を発見されて著へてるない。 を発展内は態兵隊の指揮によって もるが日本人な管理さした市政を あるが日本人な管理さした市政を もるが日本人な管理さした市政を を発展して、 を発展して、 を発展して、 を表現した。 を 長春城内には 特別市政不要

北瀬道丘官と権民地新城社長されたことを新職の舞り 版、何れ東京へまで延伸する。 版・解ははして居る、火元は敷氏 かけた、いや近く振るかも知れわれつた一般二千萬風を節終する

ンで書策

新保合はチト心細い。 「関だけは軍部のお極でござるが、 「大力」を表する。 「大力」 「大力」を表する。 「大力」を表する。 「大力」を表する。 「大力」を表する。 「大力」を表する。 「大力」を一方。 「大力。 「大力」を表する。 「大力」を表する。 「大力」を表する。 「大力」を表する。 「大力」を表する。

ならぬ総管である今日また手が顕っての野薬がある、東北大県以下官での一大県以下官である今日また手が顕 すべてこれ等は質長に取っては時に影響の下に一日から五ケ所に粥脈 四 民臨時維持會もわが軍の は、中座していたいかなければな

せていたどかなければなります

本改訂で學校開校遲

歌つてほざこの人の数を見てるる歌つてほざこの人の数を見てるる この人の身體を見なくさ (今云はなければ云ふ時が無い) の職へ腰をかけた。

「観光の表がならうこ思ってるまじ 「さて、そこで敗弱ですが」

時局對策に關 塚本長官滿鐵訪問

五日夜出發上京

副總裁とは下關で落合ふ 明年豫算審議は殆ご終る

を育さの事要會見終了後に開 を育まの事要會見終了後に開 を を はいつり事務がない、河相外事 としつり事務が合のため端 を としてたの好く語る を はいのも事務が合のため端 内田満鐵總裁語る 「海村さん中陸していたいきませ

▲龜谷新一氏(太平糾合組長)同合長)同上 氏《大邱生果**會**批副組 てこの人が自分の躰をिに見せる
脱さいふ穏見てゐます。今になつ のが概だなんて、随分感ぢやアあ 武村は武村で云ひ張つた。 「それでは見せていたときませ さダットは優しく云つた。

駐日公使の口上書に

が外務當局回

自分が此處へ監験されてゐること その背にし

―然ういふこさか見て取つた。 (そんなこさかされてたまあもの 彼がはズロースた脱ぎはどめ あくと動いて背を向けた。彼がは解手で離か厳ひながら、 小孩子は頷いて立ち上がり、 その時まで飛ぎまばたきも

犠牲の女宝

出ては行つたが犀の艦に、際耳のながて、ゐるらしく、わざさらしく 藤順三

ヘロイン

でわかる

の偉大な

作用と特效

止副總裁と重要會談 解低に伴ふ地方長官の異動は一日 地方官異動

信



…いづれ起から機度し機関も、見「今日は夫れだけで結構です。…

▲スペロインは気管支 カタルやガンコなセキ 切れ関係が乗かになります。 ▲スペロインの食味者 さに驚き泣くほご喜ん こに驚き泣くほご喜ん があります。 等にも驚くほごキャメ

が軍に對するは

飛行機で偵察

公太堡の

到着同地の公安隊二十名の

匪賊と交渉し

坪井氏救出

確信を得たごの吉報

鮮農危險

年後より盛んに接奪を役の勘案に支那股志兵と思けれる大匪威戦場にれる六百家に支那股志兵と思けれる六百家に支那に支那に支那

世界野球選手

権争覇戰

軍七囘に猛龍

製し

本壘打や曼飛ばす

秋のモスリン港尺陳列ニナー年秋の創作、新柄を揃へまして

六對一

力軍



以殘兵遁 奥地各方面

残留邦人を

救ひ出す

通遼に急行

南嶺の敗残兵 雙陽二集結 支那街に嚴重な警戒

九登を聖潔職配したることを自由 にて鹹兵少尉士国様を逮捕留置中 たが彼の覧家整には教統環八百五 十、三十八式歩兵統環丸二百四十 十、三十八式歩兵統環丸二百四十 では彼の覧を整には教統環八百五 にて越兵少尉士国様を逮捕留置中 では彼の覧を整には教統環八百五 になる。

窓に向ひ爆弾が高齢

通送には来た日本人が七名在僧し の一部はその数出のため製形弾車 の一部はその数出のため製形弾車 で概象电か出景、まためが守備隊

裝甲列車と

飛機で兵匪討伐

通遼へ鄭家屯から出動

洲

滿

錦州集結

H

鮮人廿一名を 様である『長春電話』

● では、これのでは、これ

實情を調査し 興論を喚起

殺氣立つた

排日運動

見氏來連談

敗兵が虐殺

きのふ孤家子で發見

柳衛、軍部の一流支那道六十餘名 惟成 ある支那晩祭藤崎で 二日午後一時入港の長科地で部京 おは九月二十六日に南京を出奏 市中に排日示威運動が行は八最 市中に排目示威運動が行は八最 もをしなが、二十三日には南京を出奏 もをしなが、二十三日には南京を出奏 は大月二十六日に南京を出奏 は大月二十六日に南京を出奏 は大月二十六日に南京を出奏 は大月二十六日に南京を出奏 は大月二十六日に南京を出奏

支那研究協會々員として

(日曜土)

これ登見した『奉天電通』 とれている というというでは、一日歌院出登上以哲学 選りついるとの歌に続いたが、同地派野学も人権構東南方大邦里の孤楽子に 深信経がた軍部に職び出たので二人権構東南方大邦里の孤楽子に 深信経がた軍部に職び出たので二人権権のである主の歌と表した『本天電話』

野軍のために麒麟されてゐる

人二十一名が去る二十三日

千

重松大隊活躍

あり一概を全域したのみで鍼火したもの一日夜南郷の兵様に放火したもの

南嶺兵營放火

Ξ

際原の動揺大隊の徹底は一日夜一般の通りであるが、財保に随へ

大型のうちる域で東されった。 一段小院を南麓に派遣と響談する 一段小院を南麓に派遣と響談する 一段小院を南麓に派遣と響談する 一段小院を南麓に派遣と響談する 本でなった。長春電話 一段小院を南麓に派遣と響談する 本でなった。長春電話 一日本大學に現代支那及び東洋史の てゐる江崎被歌が遊響家さして知られ てゐる江崎被歌が遊響家さして知られ てゐる江崎で歌遊響家さして知られ 戰死者慰靈祭執行 一師團と守備隊の 四日に長春で盛大に

あるが長裕在住宿民全部を表している。 新事院全部、長務祭製校全部等で を記している。 をこしている。 をこして、 をこしている。 をこして、 をこして、 をこして、 をこして、 をこして、 をこして、 をこして、 をこして、 をこして、 をこ 発者の遺族の郷里が血量でれたいき、また第二師剛管

スポンデス 日本サドル會社製品 會社の金を 横領費消

安忠田は編く同一で鑑がい食事

橋市学部に放て銀器された事実明 「大の加潔者たる単性二名は変神後 で群が飛氏の鋭で変神された叉王 で群が飛氏の鋭で変神された叉王 で群が飛氏の鋭で変神された叉王 命を握せられる有様です、かく であますが質に漢人種の勢力は 南洋方面にまで及び若し彼等の がイコットな受ければ經濟的死 王氏に暴行した 南京や~平静となる 學生二名を射殺 復旦大學教授も逮捕さる 蔣氏の學生彈壓奏功す リ戦略プールに顕行された、本大 対域を大會のトップを集る水上競技大 會は昭和六年度全日本選手機水上 競技大會のトップを集る水上競技大 政治的支配からは獨立すべきではらるべきで満洲は満洲民族にせらるべきで満洲は満洲民族に るたりする選索のアスレチックスープレートに送つて、東京特電二日襲』三年間連勝す一軍、老功の左科シ 選手決定に強選會の役を 神宮競技の 序幕開く 水上競技開始 シモンズが殊動の 二日午前十一時ごろ身ではらしい でかりませんご渡ながらしたけられ三日間もロクに食事もと たげられ三日間もロクに食事もと 新山町式歌像器を始めてゴールに なれてある、なほ本日からタイム 出奏太平洋無養 愈よ明朝 置して試験を揺った 11日軽概様代献院 二十シャン地方線 11日軽概様の記述に就 て必勝を期もカーー 一打 八兩氏

幼兒二人を抱へ夫に な婦人保護 捨てら れて大連署へ

水機の動婦一龍に現た抜かし、 水機の動婦一龍に現た抜かし、 を内地へ横して一龍さ夫婦約束 までし足繁く通びつめてぬたが 七月中旬、突然フヂが内地から 贈つて來たこさから一龍は遂に 男を恨んで電樂自殺な企でたこ さもあり、それ以來男は再び一 能の特熱にひかされ妻子を捨て 、突出二ケ月に亘つて輔宅せず 、

南西の風(晴) 天氣餘就 三日

出張所員が 本潮(午前八時三十分 海潮(午前八時三十分 年後一時三十分 各地温度

けふの小洋相場(正午) 川理學治療院

1



開業滿一 誕生內祝 一十周年記念

100

皆樣毎度有難ふ御座います、弊店も御蔭樣で滿二十周年を迎へる事になりました、之れ偏に御客樣方の御引立の賜と厚く御禮申上ます、次に二十周年記念內祝のお印として御來客樣方へお租末原申上ます、次に二十周年記念內祝のお印として御來客樣方へお租末原申上ます、次に二十周年記念內祝のお印として御來客樣方へお租末原申上ます、今に二十周年記念內別と厚く御禮申上ます、外方の報子、「一度御出でを御待ち申して居ります。」 愛

電話 四五 四〇六六 起水

色モズ八掛用 絞パレス無地羽織裏たれ八 中巾九尺 一等品 八十

錢 錢

ース第一順戦の観念は三萬八千 東京特體に日盛 ワールド・シ 入場料が 卅三萬圓 觀然三萬八千 五日

時日か要するだらうさ『長春電話』

表別の見込、たは電話線は被 をないであるが。二日夕がまで ないであるが。二日夕がまで は完成の見込、たは電話線は被

復舊近く完成支那側電信線

五千百六十一弗、日本の金で終三五千百六十一弗、日本の金で終三

打擊戰展開

で、 で、 で、 で、 で、 で、 での後は息づまる様な打撃 する、その後は息づまる様な打撃 する、その後は息づまる様な打撃 で、 での後は息づまる様な打撃 でする、その後は息づまる様な打撃 でする。その後は息づまる様な打撃 でする。その後は息づまる様な打撃 でする。その後は息づまる様な打撃 でする。その後は息づまる様な打撃 である。 目に入つてア軍兵が猛撃に出てコ

後三時でなければ硝酸田地圖が二日午年の大のと帝國まテルに 一當日の出發を延期し明三日朝出 で一は自己は機能金の全部を遊興に微事がであるらしく目下春日秋事が

發のこさに確定した 戦蹟リレー 大連代表 要談本部職員一同より感謝派があ の好く中村以及び井杉氏遺族一同 の好く中村以及び井杉氏遺族一同 の好く中村以及び井杉氏遺族一同 のがく中村以及び井杉氏遺族一同 のがく中村以及び井杉氏遺族一同

遺族から謝狀

出場選手決る

市役所より大連アスレチッククラーでは、一般には、一個クラナ戦事高橋を対してあたが、一個クラナ戦事高橋を対してあたが、一般にである。 野歌曲については野戦の城く大連 野流戦艦リレー出場の大連代表選 野流戦艦リレー出場の大連代表選 中上候
市上候
市上候
市上候
市上候
市上候
市上候

《郎八滿報》被邊灣八滿報》大數寬整手一濱田常晓八滿報》八重樫榮 高橋俊夫公崩鐵係び福本義 傷害犯人逮捕

神明遠足會

は二日年前五時自宅に於て死 ・葬儀は四日午後二時議津町大 ・野に於て執行するさ

慰問品 市役所へ

市役所總務部にお届け 受附は一先づ打切りま 受附は一先づ打切りま 下さい

女給十五名至急募集

ホール大改造夜間營業の為め

滿日婦人團 教養ある美人を募集す 大連數島廣場

十月壱日が

モス友仙 モス友仙よどれ品處分八十五 新 **两**半巾一丈

八十五銭

平絹友仙

平絹友仙新柄展觀 特價品等中一支一一一大十錢

錢 盤城町



今でモ

服

H

小兒科醫院

越後町岩狭町角電六七五〇

熊岳城温泉

宿料二割強斷行

砂風呂工事實現と

九月一日――向ふ三ケ月間の岩垣料…一泊二食付(同) 三間五十銭…の養生館…部屋代(お一人様)六十五銭…

世界第一の

(五)

本質と現狀

には海陽駐在員調査の上之た徽

支那新關稅の

合資會社解散を傳ふ連鎖商店街

差別的な途等省の

日

連鎖南店の合質會社解散運動は である

商店の繁観は一点版

解散の決

小臨時總會で決定

改造は

指示はしない

た、近く観光に

市

1

11E03 1EE50 11E03 1EE50 1E03 1EE50 1E03 1EE50

小須田滿鎌商工課長談

履行されっば結構だ

債務約六上

商店街更生の

方途

互に不利だらう」

市場改組實現の場合

けふ午後、解退組代表者と

永井市長代理が談合

豆 粕 一八三〇 五五一〇 大豆(裸。 出來高 三十里 出來高 二十里 出來高 十車 日來高 十車

豆品柄◆ 品 參 豆 柄◆ 後 三 完值 明 · 查引寄引寄引寄 富 斯 · 编

株(弱保合) 城(弱保合)

三型 | 1000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 | 000 |

111118111

九

相

おは言い時局は

大阪商船等武大連支大阪商船等武大連支 清海殿村村出

小資本の特産海運

二四四四三

一日計八十七日平均

お蔭様で慰問員を派遣

米四大

鐵道

協定

七五三一十十段

神戸期米 神戸期米 大阪株式 大阪株式 大阪株式 大阪株式 新和450 年20 新和450 年20 1250 日250 1250 日250

会警會社大連連維敵原は地元小電邦職の熱心な勢力により生れて何男主! は大じたものだが監秘事態の意象込みで振戦された小電影響終歴や運搬の合理化運動は全部器によったが、悉々く失敗に勝するほかなかつた、総るに果然二日午後一時である、かくの近く連鍛融店をしておいてその臨時總會を開催する事になつたが、上り連鎖商店事務所 樓上においてその臨時總會を開催する事になったが、こである、かくの近く連鍛融店をして事態の決念をなさしめたのは何級であるか、それは超製が来、一である、かくの近く連鍛融店をして事態の決念をなさしめたのは何級であるか、それは超製が来、一である、かくの近く連鍛融店をして事態の決念をなさしめたのは何級であるか、それは超数を、一時を構立したする。 漸緩、答信欄者に聴憾影顾し、疑惑な悪態により誤解が得れば谷社説が衝後したる土地整物のることにより耐路を開かんとするに至つたものである、耐してその駆斥は機會の決論に悪き圏が命的のものだったので、この最後の儲みを解決すること、師ち合養會社たることが 資金化することを得ないといふチレンマが社員の最も苦痛とされる順になってあるので、事實上巨大な財産を擁して居りながら、こ用する自力がなかったことも思さない、衆に合資食能であのみならず月齢にて

、延滞家賃なご全部を公司、三変その他及び

積卸作業は順調 經濟狀態も平穩に歸す

節さく至って水種に降し、これが の短く至って脳臓に遺憾して唇を外部と何等の魅りなく新態市 脱する際山脈構内の腹脈作業は左条と不常と何等の魅りなく新態市 脱する際山脈構内の腹脈作業は左側によれば寒間における通岡は 用に堪え続路も高鏡 総工により懐報によれば寒間における通岡は 用に堪え続路も高鏡 総工により懐報によれば寒間における通岡は 用に堪え続路も高鏡 総工により懐報によれば寒間における通岡は 用に堪え続路を開発して唇を

うのに

9.332.2

新四十銭安館新一型二十銭安館新一五 品 保 合 五 品 保 合 18.210.9 301.8 173.7 128.176.2 28,018,6 2,972.5 214.1 704.0 405.1 3,512,0 13,764.3 710.8 949.8 0.836 13.1 134.6 254.0 43,3 211.5 57.2 6.5 156.0 232,8

518.7 34.4 401.8 332.7 300.5 22.743.3 914.1 348.8 709.1 45.8 118.2 1.99E.G 1.017.3 2.067.7 C.0 77.9

生穀粕粕骨

其他ノ油類

埠頭及市中在庫數量

1.741.7 471.1 4G7.7 358.2

大連市

駿河町一(電話四七

雅佛、其他一般事項 養產。信用、結婚

興信

金早合延定取録手計引期が終式出来高公二十 麻袋 産地情報は青四分の一安 なず関熱潜在せるも全一歩買縁 はず関散 はず関散 はず関散 はず関散 はず関散 はず関散 はず関散 も軟弱 + 通西市建大 三該 (首中

三根

眼科醫院

一七•六一八一

● 大連市山縣通二〇〇番地 大連市山縣通二〇〇番地 一大連市山縣通二〇〇番地 一大連市山縣通二〇〇番地

●專照荷接所《大連山響等》

日本或解職大連出張所用本或解職大連出張所

七四二七兩〇七二六兩一七三六兩一

紫天外國領事館に到着せる標

各地治安維持狀況は良好

南福相、閣議に報告

る旨言明した『奉天電通』

極東官憲に

満洲には六つの

の極立國を組織する計畫を掛て先い今回の日支事件を好機會さらて

人なる蒙古青年蒙古殿野道市氏人なる蒙古青年蒙古殿野道市氏の松野の原野東が長春菜所に野したハイラルがら蝦慢の原籍地によれて張學良氏の秘書の

撰權意任皇新

1.800CC(- 4)85.20

尿寅東妥協成立す 外交は廣東政府方針を踏襲

一、蔣介石氏は國府主席を辭職し、それと同時に廣東政府は解消を原堂氏等一日夜廣東で會見ら、左の條仲で今春五月分製以來對峙してゐた陳政府の和鹽安協を遂げた『香港二日發』南京政府代表張鄉、咸鎔櫃、蔡元塔、廣東政府代表張裕、古縣安、汪兆鎔、伍朝樞院 らる妥協條件 哈市治安維持

み出して積極的に保護しない

く各省代表大會に附議承認を求む表三名宛を出し妥協具體案を作成、 政府の方針による(外交部長は廣東派より任命し多 これを十一月十

は一日左の如く決定した

《京京特電二日發》新任駐日中華6

五日信任狀捧呈

蔣駐日公使

和』獨立國建設

前清朝の宣統帝を奉戴して 蒙古青年黨復辟運動

は、東の三省は南東登戦の地で吉、東の三省は南東野時代の皇族 で既に連続もついてなり又際郷王 のからも常統帝宗戦について運動し で既に連続もついてなり又際郷王

日本軍の 行動正當 米ラスカ氏言明



吉林省長官宣誓式記念撮影 中央新長官熙治氏、

の重點は

も未定である

漸く體系が整つた

は中立の

空氣

ルピンにて、秋

本部からの内臓で一時制限され、 をでは一般では、一般では、 をでは、 をで ので機械師に行動を執ることは監 ういふ風に観察を下したであらう 北瀬に密接の関係をもつてゐる

それて養寒陰の見張りが最上に強されて養寒陰の見張りが最上に強いないに事を澄すさ何のと

長は開資後ホット関東州税制の 西山調查委員長談

って見るなんてれ」って見るなんてれ」

目分でもわからないほど態なの。

一行きやしないからいゝわ」 一様できれているで叱き出すやうに ではだってしないわ。其代り無に向 いたら、ごんな眠なこさだつて、 いたら、ごんな眠なこさだつて、 察一は驚いたやうに立つた。 校子は何か云ひかけて、ふさ てつらりなんだらう

ひよげて居る。佐枝子は急に、わらない」 彼好は時間す

四名

造

ら

を訪へば

陸軍異動

明新飛行學校教育部長 明新飛行學校教育部長

の好き人事異動な内袋洞録可かゆ。二時夢内陛下に採購傾付けられ左二時登内陛下に採購傾付けられ左

補明。可飛行學校長

庄.

補東京灣要察司令官 航空本部總務部長 毛內 陸軍兵器本顧附被仰付

绮胤 真次

ムラ

人文金属於了

一の反抗

(47)

東京獨要塞司令官

電東京二日登』満洲に於ける獣人概器事体観察に鑑み我軍は消線性級地逃に軍部の手の居く範圍に然軍官二日登』満洲に於ける獣人概器事体観察に載めては内地人同様属置せられある事を信すは二日闘東軍司令官に左の如き訓令を發した。 「東京二日登』満洲に於ける獣人概器事体観察に鑑み我軍は消線性級地逃に軍部の手の居く範圍に然 日關東軍司令

やつてゐる、現に流鏡附顧地に天幕を張り彼等を收容し食糧や醫樂を供して保護を加へに関しては陸軍省が注意 被禁は織々たるので内総総合の立場から特に本日の脈節を見た鵬である今後は総人保障には一歩踏ってゐる、現に消緩附脈地に天幕を張り微夢を收容し貧糧や緊緊を供して保管を加へてゐるが奥地ってゐる、現に消緩附脈地に天幕を張り微夢を收容し貧糧や緊緊を供して保管事者が注意する深らなく

十時から宮中に参内鳳凰間に進み一を掛まする事さなつ民國公使蔣作置氏は來る五十午前一天皇陛下に謁見傾付 顧氏外交部長說 はる けられ信任状

会事は 時命用即のし出仕と

たる ある決心 CD

時飛行機で養亰したが次の如気二日登』顕維鈞氏は一日午 は國家危急存亡の際個人さら 駐英大使説も傳

蔣氏に下野勸告 でして観へてある、又駐英大使説 なほ支那側は駆氏が外突部長たる なほ支那側は駆氏が外突部長たる

「あらさう。ちや、ベルモットおって來やう」

「い」のよ、何で

らない」

お菓子、買

のが無いのれえ。使か

「氣になるなあ」

一云はない。云はなく

[3 B

す

もう澤山、今日は甘いものは要

「それよりも、

「それも話すけれごー

張作相氏が張學良氏に要求

張學良氏

南京着

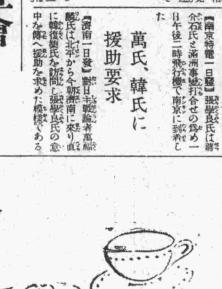
昨日飛行機で

鏡州に陽道せる張作相氏は學良氏 將介石氏が在朝することは、四の事題解決に就いては南京 るも東三省における、反群の無運 さ勧めた由である、駅の近く作相

時局に關する懇

塚本關東長官

援助要求





關東州稅制

調查

きの

全部議了

」閉會



|制調査委員會は二日か以

で、これで、一番の上直に長官に答申すると、一番の上直に長官に答申する。

ごうかしたの?」 「もう際山」 ごうなつた?」 「さう、さう、いつかの、あの事 第一に氣にかゝるのがそれだ。 こしたんだが、住所も値も書いてにいるだが、はいかけて純ねる。 ちへるここがあつて、常分およ。 ちへるここがあつて、常分およ。 ちへるここがあつて、常分およ。 ちんだいんだが、 は所も値も書いて 佐梭子はびつくりして、「行方不明、ほんさ?」 「家を飛び出したのれ」

彼は、強て打御すやうに 「きつさ、カフエーにでも出て動 「行く さきのあ てはない てれでうつちやつさ

「健力さこに、手紙をよこして「便力さこに、手紙をよこして も無いのよ。

ずらかべる語を球野でしずま讀を書本

五五四學大 中時學時高 是明·春秋春 秋春秋春秋春

呈進本見容內 錢拾五量臺卷各由分 錢六內市料途)自屬 頁面編錄百百八寫 是紙質上。頁百五卷每 十發一一表

金



質質一圈世錢送料工 人阪屋號書店

懸置

忠櫻 明御崎著 高 優 優 一 で 優 一

近れ

選覧者海のない ・ 質質一個六十八銭送料士二 が対策できるのが

野義信編著全三卷 **夏然!讀書界**

貓 江 曾 全民 隆

場馬ルトグド 院醫

十年

商議上京委員

詮衡役員會

高田友吉氏に委囑

浮云財源

八員整理で

が、二三季泉より原営な希望出で 代表に於て適宜考慮するに決し閉 を記するに決し閉びまるに決し閉びまるに決し閉びまるに決し別ができます。

央風從と滿洲事件に關する交渉 大見從と滿洲事件に關する交渉 なりたるのみならず交渉には相 なりたるのみならず交渉には相 なりたるのみならず交渉には相 で表目子を要する 當の長日子を要する 當の長日子を要する としたものなる東四省 では一時的の過渡現象で遠からす で遠からす 一、現在の東四省の群雄割據狀態 は一時的の過渡現象で遠からす としたものなる東四省 では一時的の過渡現象で遠からす で遠からす

看主席たること不可能となった 三、 臧式毅氏は特殊の理由により

更に仲買人辭退の意思も表示

つかず物別れ

一態度强硬

四日出發上京

派は十二、三百 は全間東の一割 下が全數の五分 下が全數の五分

の観行たる地位を取戻す響でめ

政府の行財政

本金、鑑立金、諸預金等線計十三个後はナショナルシチー銀行は資

與黨

政府を鞭撻

中谷警務局長は事態以來端ご連日中谷警務局長は事態以來端ご連日中谷警務局長は事態以來端ご連日

中谷局長歸任

日

したらか何さ注告する處あつたが

反蔣を目的に

大産業に共びがなる地下港行能 地高潮を隠憾せればならない不盾: に降る。

共産黨の活躍

上海にて日森虎雄

間難に喰込み、驚局の神經をいや活動によって國民黨政府の斯かる

(日曜土)

い事候も養見したので同三時から とたら如候さ注告する處あったが とたら如候さ注告する處あったが とだら如候さ注告する處あったが とだら如候さ注告する處あったが に至ってるなかったから不需要鍛 に終った、なほ様非市長代理しました。 に終った、なほ様非市長代理は がまだそれと がに從來組合長の に終った、なほ様非市長代理は がにでこの監した に終った、なほ様する處あったが に終った。なまば告する處あったが に終った。なまば告する處あったが に終った。なまば告する處 だい、なほ離する姿 がに従來組合長の にでこの監した でこれが處理に関し融組合長同書 る心算である る心算である る心算である る心算である る心算である る心算である。

解退を承認

意志に任せて

日本人側が連視部職をしなければ 等の意思に任するが翻談したいさいふ 者に難ら引き止める策らなと當人 がい、なほ離する者に難したいさいふ い、なほ離する者に難しては疾式 がに、なほ離する者に難しては疾式 でい、なるとなる者に難したがな ない。なるとはなる者に難しては疾式 がらに 従来組合長の職地を添へてる 永井大連市助役語る

残留の支那人側では左の妃く語っ 支那人側協議

豫算削減

定を終り本月で支援等は九月

れてゐる

江口副總裁

十日發東上豫定

新順の好きは支那代撃空の数官標 なざでは覚察が倒によつてそれがなざでは覚察が倒によつてそれが ながは覚察が倒によつてそれが ながれまれる▲現に獨逸の

麻袋變らず

經理部で立案を急ぐ

頃迄に査定

★などと言つたら當

識ろ然う云ふ人の う▲ところが地

いや噴出す

て控き起したものだ

整理案を修正

上京脚たる十日頃き

る響

るへこれ

關稅問題懇談

あるここする一般外國人は知らなな言つて原る 4日本は何故論繁極を言って原る 4日本は何故論繁極の事態を整々と覚察せわか、駐

對策協議

の際案さなつてゐる撫順炭輪出版。
を開催するが、離上で目下日立間を開催するが、離上で目下日立間を開催するが、離上で目下日立間を開催するが、離上で目下日立間を開催するが、離上で目下日本間を開発するが、 井杉氏弔慰金 脚製、大連港における二重課税

時村の太鼓馬鹿に冴え――邪道句 で意ぶ前にいつも作ら我覚覧の問 言はしむれば継続にその 月十四日の職盟理事會、日本順に

サー日からストライキに入つた。 軽大學では完全に機難してゐる學 一時姿を徹してゐた「日貨徹査」 一時姿を徹してゐた「日貨徹査」

三十日までの累計は二百六十国にの中卑地正雄氏動機のに係る九月の中卑地正雄氏動機のに係る九月

發兌

大連浪速町振替五五東京日本橋區吳服橋

大阪屋號



B

最新支那地圖

最新滿意 圖繪縣



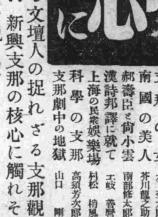
大き十十日親ばいかる地にて上京野等のため目下の所職定とないがいいる地に明年度戦闘嫌疑節

無疑の眼を現て論評され勝ちであ な中間が行動も更伸正常されず、 な中間が行動も更伸正常されず、









紛糾の卸賣人問題 英金本位停止と 我經濟界の對策

土方日銀總裁の意見

農林省の

満鐵の營業豫算 七

リ今後爆燃一致政府 も一段落を告げ時間 も一段落を告げ時間 職々苦憫出でん 時局に善處を期す を変したいさ希望した。なほ三日 を変したいさ希望した。なほ三日 を変したいさ希望した。なほ三日 を変したいさ希望した。なほ三日 を変したのの無数を乗へ行政整理 を変した。なほ三日 を変した。なほ三日

▲長谷川吉次氏C三越支店長)で 日入港うちる丸で輸連 日入港うちる丸で輸連 十河信二氏で協鍵理事) 二日本 養事務打合のため奉天へ 養事務打合のため奉天へ

ツウエート ご策謀し 二川夜 四日出 出來高{期近二百三十八萬圓

選期 近 540 8450 855 8510 鈔票昻騰 ◆定期取引(單位錢)

糸

評論隨筆家協會編 新刊

とはじく な虚 かい

林奉天總領事序杉 著

なる知識な受べる知識な受べる知識な受べる知識などを 支那社會の表裏

自由取引

內以行十五 迎歌書找 すらさは医学

るものが私のカフエーに二人る

東新株暴落

允

內地四圓臺

を入れて常市も二圓三十錢版共東新の大引九十四圓釜

きのふの市場

(=)

の選擇は中國人

說

日本人の不干

蔣及使の見當違 東四省に於ける獨立政府建設 更四省に於ける獨立政府建設 使をして我政府に日上書を送致 使をして我政府に日上書を送致 でしめた。其大意は若し斯標な であるこするならば日本軍 の風説に関して我政府に日上書を送致 であるこするならば日本軍 であるこするならば日本軍 であるこれらば日本軍

東北四省の保境安民が目的 市の興奮人たる事を静遠した市場市の興奮人組合の日本人職十三名は二郎の人組合の日本人職十三名は二郎の人組合の日本人職十三名は二郎が続支那人の即實市場たる観をは発続支那人の即實市場で、一日は定期をは発続支那人の即音、一日は定期を対してあるが、一日は定期を対してあるが、一日は定期を対してが行の処き、機能に回賓人等がつたが行の処き、機能に自賓人等がつたが行の処き、機能に自賓人等がつたが行の処き、機能に自賓人等がつたが行の処き、機能に自賓人等があった。

ちこれはあまりに矛盾ではありませんか、一番の離の鳥ではありませんか、一番のからまこされたものです。男人からまこされたものです。男人

● おきなりは、 できる から公然さやつてるます。 から公然さやつてるます。 から公然さやつてるます。

100

博打ちが來て二階で金をかけな

十面の罰金云々と秘典はその節

Ó

ませんか。

地方行政委員會の名で

寧省自治政府組織

フランスでは 「バリーー日養」フランス能様ラ ヴァル氏は一九三二年度継算家を 五百歳法に修築し新砂像収ら宿は でる買養し赤学等ら場形は宿は なる買養し赤学等ら場形は宿は なる買養し赤学等ら場形は宿は た 望んで作った規 を作ったのも

首腦者口袁金鎧氏

ない連続です、規則 をなされたし をなされたし から知れない ◆これでるて一がでは膨るルーズです、駆き取締りが快難にばかりこだわつてるて肥鬱の監が放りこだわってるて肥鬱の監が放りまれる。まれの変に等しい積緩です、また砂塗とはあらゆる形式で經營者から金と換戦されます色人な名目で接 主人は大抵いやな男

大豆弱含

く極度の不振で不申、一 堅調を早したが豆粕高 以大豆は添はず弱含な

はアメリカナショナル銀行管理窓 職を與へてゐる 職を與へてゐる 金一億七千萬弗なるも經營意の延六百萬弗被弦金三千二百萬弗、預 に承認を奥へた後者は資本金三千はアメリカナショナル銀行管理案 今後はナショナルシチー銀行は資くならず前者の下に走つたもので 米銀行管理案

阪期 一一一後場寄 九九七六 〇九六 期米

* 一一一後 九九二十七 一六七

滿鮮趣

不二九不五四五五六 九七十二五五四 中〇〇中〇〇〇

千九第

慰問品

Ë

IJ

か

樂しい遠足會

百

報

六

掘いて盛大な開館式な響げるさう成し十一月一日には昼校開催者を 右について湯下校長は次の

羽衣高等女學校

央試験所東側の空地一

ますを良い品は液全體がに

午後三時から盛大に

お陽さんでした。種ケ島の山から「つごこ迄行くのかしら。こんな響」めて順調に進捗し最近三陸整延将って頭の上を一間りして真紅にや ちう、お陽さんなご眠も向けら 行して以来フールスピードで新築けながら又解かに添に沈んで行き もう、お陽さんなご眠も向けら 行して以来フールスピードで新築するがあるよんが添の中からすうさ上 艦に乗つてゐる白い春物を見まし 撃校並に羽灰高等女學校の校舎はお陽さんが添の中からすうさ上 艦に乗つてゐる白い春物を見まし 撃校並に羽灰高等女學校の校舎はお陽さんが添の中からすうと上 艦に乗つてゐる白い春物を見まし 撃校並に羽灰高等女學校の校舎は はいいまってもて、その下を整な丸い に今井組の講館で新築中の大連語

はうよ歩いてゐるのを見ました。 名も知らぬ大きな木が海岸に生い難つてゐて、その下を壁な鬼いと 上 船に乗つてゐる白い着物を見ました。

「保験りかこれに常て準備に取りか大連大正小學校が今年四月一日の大連大正小學校が今年四月一日の大連大正小學校が今年四月一日の大連大正小學校が今年四月一日の その他松山、末吉兩先生の努力で、関東州に陸上げされる魚類す、関東州に陸上げされる魚類で独立のやうにさ希つてたります。関東州に陸上げされる魚類の標本は小林先生が主さなり、

を計りになってるます の諸先生の助力により最近立派 なものが完成、いづれ運び入れ なものが完成、いづれ運び入れ る計りになってるます

所が岩狭にさって、それはく がとい日がやって来ました。 がお狭にさって、それはく

いたことがちつこも嫌しいこは愚 ひませんでした。水兵さん達が

(印建物使用)

大正小學校に出來ます

十一月一日には關係者を招き

盛大な開館式を

各講義共申込者の數は日に日

方で、

待ちに待た

てし記明を義壽のみ望

京

東

早

愈々第一号出で

「月も日も大和の方でなつかしきださいふ歌が一つ残って居りますださいふ歌が一つ残って居ります ち種が貼が見えばせいかご眺めて

獨學

て立身出世の基礎

丛出

開始された。

を逸せず

奮て本講義へ來れ

を培はん

とする人

味噌=日中に入れて舌をさす 油になります。これは確分にさけた味はつて見て黝ఄの心みこん ために一時に分離されるからです であないのはいけません、十分に 下等品になりますご蛋白質が少いよくなれた味噌はすりつぶすのも からほさんご沈暖やにごりか生じまくなれた味噌はすりつぶすのも からほさんご沈暖やにごりか生じまりなれている。 り出しますさ冷るに從つて沈澱物が現けれますが試験管をされますが試験管をされますが試験管をされますが試験管をされますがは、 接入部にする場合のである。 がよく呼えて給色のが上等で黒す 訂正 九二十日朝他所載 放って置き

です。其方面の大家が商業學を詳しくき乍ら早く出世するには本講義が一番

律を懸切に講述したもので、内容本講義は法律學の最高權威者が

ので、內容豊富、同權威者が現行法

講義適切、價格低廉、眞に日本唯一の

いてゐるから學校で教はると同様

了修半年ケー星遊誌雜園附月毎

講義である。

將來判事·檢事·辯護士·官

頁 百 四 判 菊 册 一 了修半年一●行登回一月起

公吏たらんとする者は勿論、

んとする一般國民の必讀す

最良の法律讀本である。

れ、又文部省や商工會議所の資格一ク年半に甲種商業卒業の實力が

現代の新しい常識や、新時代に應じた 毎一毎 世現代の新しい常識や、新時代に應じた 母 離 世 しただけで、獨學でこの實力を得るに 大 母 年 襲 は、世間の信用厚く、內容の充實した、 母 年 襲 は、世間の信用厚く、內容の充實した、 母 年 襲 は、世間の信用厚く、內容の充實した、 母 年 襲 は は、世間の信用厚く、內容の充實した。 母 年 襲 間 しただけで、獨學でこの實力を得るに 女 年 襲 間 しただけで、獨學できるの表情を表

試験を受くるに絶好の参考書です

高

書。豫備講義は初學者の完全な指導書。學講義はこの受験者の絕好無二の参考 の資格試験を受けねばならぬ。電氣工一月ヶ獨學で電氣主任技術者たるには遞信省一毎一 电氣點豫備顯 講

一年 回半

應用方面に至る迄凡で網難し、

依頼して建築に必要な全學科を基礎よ **建築界に活躍してゐる一流の専門家に**一毎 平易懸切に講述せるもので、真に我 一に於ける建築百科全書とも云ふべき 一年

•講

未曾有の危機を孕む現代社會に善處せ 安に應すべく政治經濟に關する大學 生命的必要事である。本講義はこの する適正なる知識の獲得は現代人のとせらる」大衆諸君! 政治経済に 界恐慌、失業者續出、共產党事件等人 程必 頁 百 四 射 菊 册 一 了修半年—•行發问—月每 錢拾貳圓壹月費學

00 沿線各地の御用命は 最寄店所 … 険

經田 火上海 険 保 大連市山縣通り 際

榮養 真正 0 素 0

を確實です。本講義は質問の自由、早て増補された本講義で勉强するのが最

國意月費學•行發囘一月每 了修年ケー各期後期前 是 進 誌 雜 屬 附 月 毎

「特別講座」「雑録」いづれる新味

頁百四判菊册一 了修半年→行發囘一月每 錢拾貳圓壹月發學

一般文藝の愛好者及び文

田大學への特別入學等幾多の特典を

被受験者、速かにこの理想的學修機關

を發揮する。

講

講

神

仙

菜の學力を養ふには、新中學令に據つの學力が必要です。家庭にゐて中學卒

實物を見よ。而も尙號を重ねるにつれた本邦唯一の文學講義! 論より証據

内容外觀文字通り面目一新して現はれ一

滋 賀

の帽子

子供用雞慢

義

ヘビー用品

大連伊勢町一五番地上 井 商店

講



産婦 婦人の病は婦人の手で 永井婦人醫院 本 界 赤 井 清 子

是非お試しあれ 質質と經濟合理化の優秀品 特約販賣店 製造發賣元

司司

占領せる新調味料品質に於て斷然王座を

松葉食(松)等 大連市播解町二二(播解町電停北人)

本軍職倒がごの程度法被等に知られたかさ或軍人に漂れて見たら 戦闘らしい戦ひは無かつたので ごうか知らん、日露戦争當時は 一度火養を切つたが最後五日位 は敵對行動だつた、それに今回

賊は死體を殘心逃走

の無線なる挑戦により交戦の結果。

| 「五房店」 | 京房店 | 日本店 |

者、得てコンナものが現はれるものがではなった。 しからいの戦がで連抜が助料を受けていたのができる人物、此のないのがではなった。

使用せず特別版から輸送してゐる を 就車なぞもが八十新機へたが規律。 振りて全く特像も及ばねらの、自 の設定なる丹島軍は一盤も現在は での設定なる丹島軍は一盤も現在は での設定なる丹島軍は一盤も現在は での、自

給仕君の寄附

これて唐たが結局關東歐に抱意法の長経館について種々協康が進めら後近準事の歴史財化の計画表明から後近準事の一個な協康が進めら

水・師 然日記 念山中水・師 然日記 念山中 水・師 然日記 念山中 では江事大に態接し版々聚る二十一日取数江際聚式を繋行する事となったが幸日は殿布職隊出島者に使って 時五十五分發にて燃口に向った

彼等の過ぐる所鮮人の影なし



をごうみたか 奉天敷島校での質問に對する 兒童か 涙ぐましい回答

五十名の

優しき活動か行けて居る 【安東】不法課校徽牧機關さして 被選対範の真に供されつゝあつた 被選対範の真に供されつゝあつた 經濟交通恢復する 野するい間の野か述べる處あつ

朝鮮側に堰止め

對岸に護岸工事

鴨綠江柳草島岸の

総数を脱版の上出航軍隊歌祭官に 一時から在版甲等學校及び被等學 で被客校長一同代表者さして關東軍 で、大阪東軍和総院信所歌

警備演習協議

悉く虐殺

開原兩縣下にわたつて

邦人保護の任を終へ

驅逐艦朝顏旅順歸港

(四)

は常職は改選後

会能は野口少佐では野口少佐で 令部

時より同會議室に緊催た記候家をの第一回常議員會を三十日午後三

日 一、會頭、副會頭、會計、委員選 二、第一四回滿濟商工會議所聯合 2、新聞委員委囑に關する件 三、新聞委員委囑に關する件

安東商議會頭

17711111

MILL

大連辻利ビル内

同じ飲むなり

元氣で励め

エイクンを

語はるめる

名瀬戸口藤太郎 名瀬戸口藤太郎

赤玉愛用家 轉車當籤番號!!

各組共通 當籤番號决定

-様に此 쨏

致します尙當籤洩れの向へ

景品は御希望拜承の上發送

正抽籤!上記番號御當籤!

警察代理店御立會の下に嚴

大特賣は終了!廿三日新聞

盛况!盛况!盛况裡に赤玉

は曩の規定に依り既に齒磨

ス

モカ拜送濟みです何分御



諒承を!茲に應募の方々販

賣各位の熱烈なる御援助に 對し稽首御禮申上げまする 赤玉ポートワイン本舗

未生ポ

愛用家優待特賣

御相談に應じます 電話六五四四番

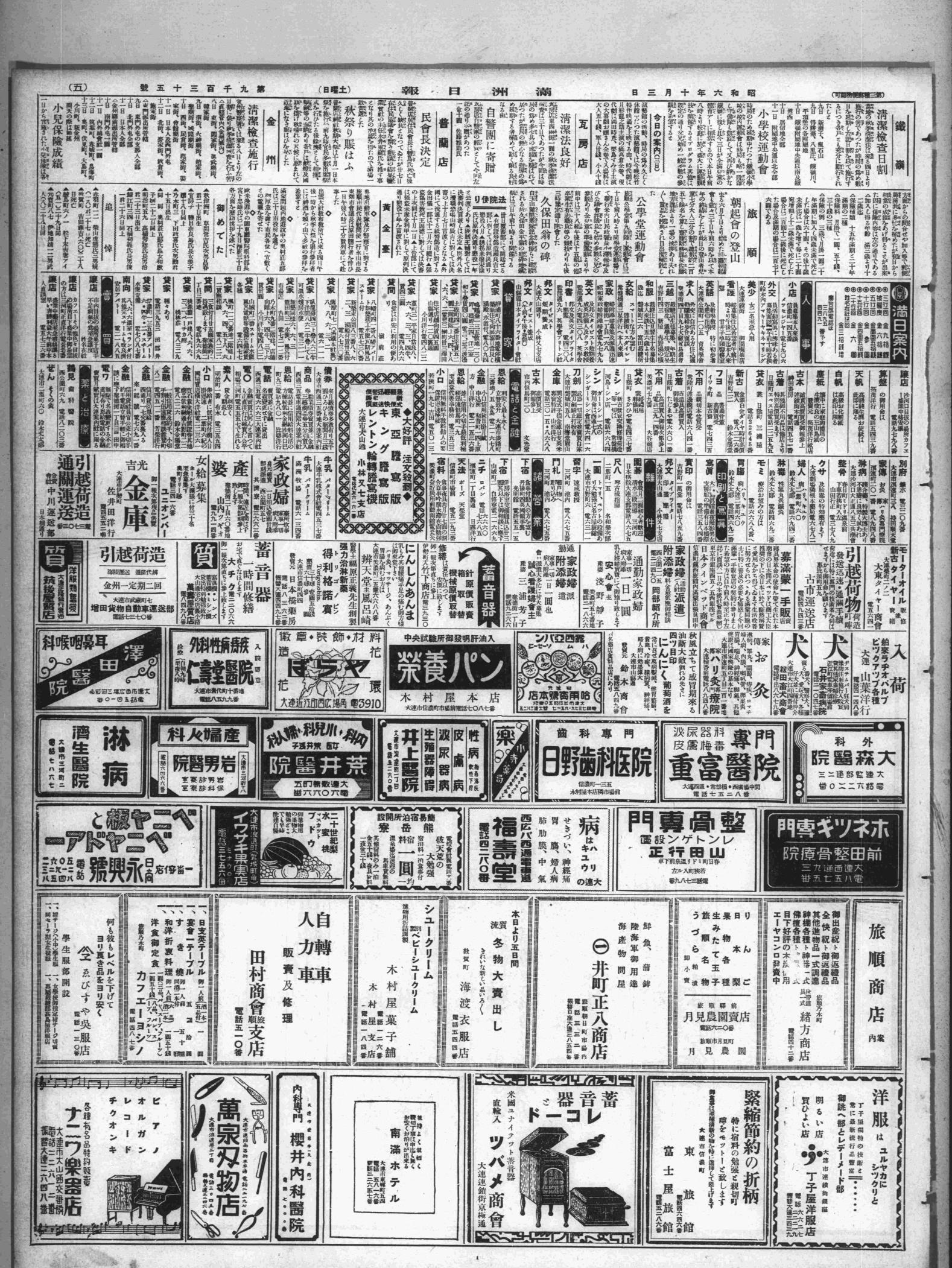
五ヶ月拂 | 「大連市磐城町へ大連市磐城町へ

旅順乃亦町藤田支店 藤田寧笥製造販票店大連市餐城町(大日活向上) **电話六八一九番**

現品先渡

京京方

相同





あなたの多足袋は既に私達の工場を出ました。海に陸に優良の製品を送り出したのです。それは恰も勇士が出陣するやらに目ざましい作品を強いる。 一次の御外でである。 一次の御外でです。 まずの御外でを関いる。 おります。 というない はいました はいました はいました はいます。 というない はいます というない というない はいます というない はいます というない というない はいます というない はいます というない はいます というない はいます というない というない はいます というない というない というない はいます というない というない はいます というない というない はいます というない というない

たどへば……

勇士が出陣するやうに

値下してから一層人氣 これ以上よい足袋なし

取、井上海緘黙、伊江鴨助、南弘 野、土龙郷、瀬野女二、小松歌大 野、土龙郷、瀬野女二、小松歌大

營口からゆふべ來連

事他一名の貴族院観察際は三日午福連中の大久保子齢他七名興津芸

- 等學校の

月開催

日を

大島院

告長

林挑

地方波院第二號波延で長島部長保 被告島田は昨年大作第一回公根は二日午後五時から 察託は立つてる業務上過失像常、醫師波達定事 概能を土砂腐の上でる業務上過失像常、醫師波達定事 概能を土砂腐の上で

貴族院議員の

H

幸板

通遼の邦人

我軍に歸順さす

軍事行動の中止要望

が軍應援に出動 城内に入つて掠奪放火 馬賊來襲 八安否不明

總退學を

関東の排日

飽迄決意

諭告を無視し 秘密集合す 煤鐵公司の支那人

失業者の暴動で

警官隊に死傷

衆は憤慨して五風智察を跳撃し訳明日ピラ貼布せるた配正した鷹氏 野田ピラ貼布せるた配正した鷹氏

敗兵の

偵察機爆彈を投下

上山城鎮市街に空

乗車の通送人市を希望してゐる而。 者治安維持會就百五十名餘で治安。 名治安維持會就百五十名餘で治安。 名治安維持會就百五十名餘で治安。 名力安維持會就百五十名餘で治安。 名力安維持會就百五十名餘で治安。 名十名な出し乍らも愛嬌鬱戦マッ の能談。 敗兵を集結して

英國のグラスゴー 應接除派遣

下院提出

香港丸で

對一で

四 A 六大學リー

對法政決勝

東京二日登』法立野球決勝戦は で開始四ム数一で立教優勝す、閉 で開始四ム数一で立教優勝す、閉

鑑定人申請で

法廷緊張了

横田少年に絡ま

醫師法違反の

公判

在滿邦人の希望を訴へて

全國の輿論を喚起

よりの該病侵入は先づ もコレラはや、下火さなり同方配と上海、漢山方面の水害地方におけ 4A計1

の清積は砲銃

限して丸金

(埋葬を伊定)

に関する場合は中間

奉天事件を斯く觀る 自己宣傳に陶酔する支那 奉天事件の國際的檢 奉天事件に對する新聞論調 滿洲事變ご外交 十月三日發賣●第六號出來(十錢) 討

逸 楯 峰

解散を一

年の代表情能が展覧さると等

秋

0

合資會計連鎖商店

単生の排目運動取締の脈示を養すし新日間題に動き無数と本目學取りし新日間題に動き無数と本目學取り 郷シたの現代の一般である。 袋叩き

小學校運動會

であるが既に開催日割の決學校でも目下秋季運動會の

を受た河野某、池邊裏を近原士を総定人に島田の

裕九九八六話電・六七遍西市連大

實 粉粉 物 物干やさく青

自轉車泥棒 太平洋會議に寄す…蠟山英米行政國の出現…中村 西國際法と獨墺同盟…立 博 國策斷行の機會 ……大西日本の行動は正當…矢野日本の行動は正當…矢野日

安富

市支那水害考察…馬場一次開發十年計畫…岸田一次開發十年計畫…岸田一次一次

…金崎 賢

卜板 丰

連鎖街の問屋大島屋へ 新米相場は 質配達迅速

erheits-Armatur versel ung zu erzwingen. Gas anzuzün Lamelle Falsd des Betrie Gefahr e 皆さん! 今年も早日にお申込た。 損料も値下げ・あらゆる御便宜かは かり御用命をお待ち致してるます。 10月より | 大型(十畳向)800 | 間 | 小型(八畳向)500 8181番

besonders angelegen sein

満州口友衝突事變 第二版は五日發賣 南昌 W. 100 LET 村

所賣發 木各 洋書

奉大大 天連連 行店社

第一版は忽ち賣切

地番七町路淡市連大

界各國 酒 類. 0 00 じあるむ新

併維珍海 委託 **一**產 **質**穀魚物 專業棚 節干苔鲑 丸又食料品店 直 多 六自

博

+

でなった。が、全社では発生である場が、別に際立 ではあなかつた。が、全社では発 を製でたえ子に塗ったことを忘れ ではあなかった。が、全社では発 である場が、別に際立

五

のに、今朝見るさ洋館の仲居達

痛、神經痛、火傷風邪、戍胃、咽喉

△ 販賣店 日本 本等票局、费州藥局 上野藥局、费州藥局 上野藥局、養州藥局 上野藥局、養用藥局

世界の風邪外傷の塗布藥歐米を風靡せる

切傷外傷一切

Ξ

百

が手中にころげこんで来た幸職にはまた傲然思ひもかけの美しいいや、そればかりではない。一方にはまた傲然思ひもかけの美しい

● 第三日 五時

五六七八九十二 三三十初段 井上 大市氏

九第

(日曜土) とて高らかに突った。整音の慰したのだつた。が、今順太郎は一種の慰しまた情感を抱いてゐる肚三に、剛太郎しまた情感を抱いてゐる肚三に、剛太郎しまた情感を抱いてゐる肚三に、剛太郎しまた情感を抱かないではいられない。

なづいた。ながいたもとの影を見つめてうながいた。

载 日 满

8

+ 年

(N)

大山剛大郎は肚三の殿り叫ぶ覧をいい、無持で聞き流しながら、窓 がは襲日に明るかつたが、家の がは襲日に明るかつたが、家の がはいるがない。窓

五階から黄のかすかな足音が雕ない語りの笑を深べて、聊太郎の名といい語りの笑を深べて、聊太郎の名とないにからないて来た。剛太郎は父しなりにお冬に感動と好意の笑を見

「脚ってるわ」

取り引きい

河

野想

多

畵

と。五院のあの誰にも還入れないと。 五院のあの誰にも還入れない

ったものぢやないのし

「今迄も幾人かあの形屋で、強骸

(67)

では、あのあいのこれぞ何うな

ジョン

玉置合名會社の

「あなたの際を思ばなければ、昨ここを思ってるてくれるのだな」

放送し 京りの私は

新済消温に此の名薬あり 淋病消温に此の名薬あり

難し

自

車

用

夕動

Mana Subけ 別府 が 別府 薬

專賣店

堂屋堂 藥藥藥

房店

▲ 偏逸野藤座「テキスト第二十二 課」大連語學校藤師萩榮 シロフォン颯奏「コンサートポ ルカ」シール作「カロップ」フェ ター作「スパニッシュダンス」 シール作「ホルカマヅルカ」エペ シール作「エマングリゴリエ フ、件奏村岡樂重 フ、件奏村岡樂重 フ、件奏村岡樂重 月經閉止四五ケ

青島精肉 食する 夏 店 め明 ぢ

אינובריאר וויאינוברטטאי

其作用が であるば 緩性 和。 7 無なく から

溶け崩れず

三倍も保つ

快く溶けながら

溶け過ぎず

舖本

京東

◎ミック石輪が如何によく 肌膚を洗ひ整へるかは

層よく分ります さて寫真を撮つて見

省得の特殊作用を以て容易く 安全短時日に應用の目的を達 に 大なる信頼さ好評を傳せり 大なる信頼さか實行す此の信 が確實なり、胃腸陰害絶無 が主義さこて調動せる古來

顔面と

肌膚と

毛髪の

元

を 市 東町 連 銀 街



久に 品を おり が バルフ 學 労働 ズボン 服 英藩 婦人簡單服 型 要 生 服 型 単 生 服

人院隨意 連肛門 元氣洋行 作業 院長 内田類 服が 病院 西公園町三トキワ小学前

金網製造商 西 商話七六四八番

必ず一 取高名譽賞受領 特に舶來品と比較御試用の上其真價をお味ひ下さ 品質,第二 **指商館 携帯用中形チューブ入一箇金 十 錢** 億用大形(七十瓦)入一箇金二十錢 香味清快の 6商屋原门-京集 MAIDEMIADAN

第三回化學工業博覽會 70 家には 歯を強く美し

毛糸、毛織物、絹物の 大使用至って軽便効果値がて調大なりの必需品なり物の洗濯に TATI For All Fine Laundering MANCHURIASOAPHFGC9TT [州石組株式台 店にあり 毛糸店、鑑 毛糸店、鑑

つこりご肌膚を整へます 汚れを落すばかりで無く

明常を表する。 「一般の強い機和」いといふ事業をとします。 一般の強い機和」いといふ事業をとします。 一般の強い機和」いといふ事業をとします。 一般の強い機和」いといふ事業をとします。 一般の強い機和」いといふ事業を生じます。 一般ので、原気ない。 一般ので、 一般ので、 に使って、 一般ので、 一ので、 一ので 一の

店商屋見丸◎

ウ白粉

大き無鉛で、フキノビの良い 完全無鉛で、フキノビの良い できました。作用 の緩和いミツワ石鹼で洗か整へ を地脱ヘッケれば、水刷毛がき た地脱ヘッケれば、水刷毛がき できましくツイて を、不思慮な程に美しくツイて

△滿洲**發**賣元

國光公司

をツ

日支基督教聯合教濟會の活動 Call

13

時局對策に

關

の関

塚本長官滿鐵訪問

計註 合 臨 報 合 臨 特 計 計 部 部 計 部

日大総督より振称省に四示され「は十五萬三千圓(人代聖十萬圓、和七年度振称省所營建築概算は「十五萬圓にして旅称院の學繁總職「東京二日養」旅称院新設に伴ふ「たが、家康第案によれば都均職六

の下に 機能さて そ

五名、外田富三四課制さし書

拓務院新設豫算

五日夜出發上京 明年豫算審議は殆ご終る 副總裁とは下關で落合ふ

塚本長官さの世界 かれた緊急重視会議の 会目の重役会議で最大長官の訪問 情は何等關係がない、河相外事間は何等關係がない、河相外事 標長はいつも事務打合のため游 標長はいつも事務打合のため游 標長はいつも事務打合のため游 で總領事館、軍部方面に挨 物をしたので登らしいこさで は五日夜出後率天へ赴き一間日 は五日夜出後率天へ赴き一間日 は五日夜出後率天へ赴き一間日 は五日夜出後率天へ赴き一間日 は五日夜出後率天へ赴き一間日 は五日夜出後率天へ赴き一間日 に対する。 内田滿鐵總裁語る ▲山本滋雄氏《日本商業通信社副社長) 事務打合せのため一日二十 長)事務打合せのため一日二十 長)事務打合せのため一日二十 長)事務打合せのため一日二十

◆今井給直氏(ジャパンタイムス相談役)同上 ◆小林五郎氏(大邱生果會社副組 今長)同上 ◆館谷新一氏(太平組合組長)同 **年前九時入港のうちる丸にて** 崎部郎氏(日本大學講師)二

▲鈴木秀次郎氏(キノリング商會 のが概だなんて、職分働なやアあってこの人が自分の外を起に見せる でこの人が自分の外を起に見せる でになつ りませんかし

自分が此處へ監禁されてゐること ――然ういふここを見て取つた。 (そんなことなされてたまるもの

同上

トを小夜子さな二人だけにする は、嗄れたやうな軽で云つた。 で武村はこの部屋から出て、ダ いで、刺青を見てゐたダット帯年 彼女はズロースな脱ぎはどめ その背にも刺青が彫られてあつ

午前十一時出帆の奉天丸にて 澤太兵衛氏(新隆洋行主)二 日入港の長春丸にて來連 日入港の長春丸にて來連

《郎氏〈大汽上海支店長〉

「武村さん中座していたときませ

武村は武村で云ひ張った。 ズロース

脚へ送一畝に、異様な刺青が影らの、腕から腹部から、瞬 小夜子は頷いて立ち上がり、そ くさ服か脱ぎはどめた。 胸から腹部から雨脈から、雨から腹部から腹部から胸がら腹部から雨がらればなの勝い

犠牲の女団

伊藤順三

史

を立て、ゐるらしく、わざさらし く咳をせいて見せた。 「それでは見せていたがきませう さダットは優しく云つた。

都低に伴ふ地方長官の異動は一日 東京二日登 池田北海道長官の 地方官異動

止副總裁と重要會談

▲スペロイン」の強烈な 息が切れる苦しい喘息 息が切れる苦しい喘息 の發作もラク(止ま ヘロイン の偉大な 作用と特效 でわかる

するは明かであるから最後の平陸ことで普通貯漑のものた糸翠公像の名の下に總議關係を管に要求書揺出た求めたが、総入搬蔵で節紋の困職さよりとて筆賞織成が非談上されてゐるが、將上蔵様は矢霙者塘加の理狀に鑑か明年度も矢霙公僚養代の巳 入藏省內示整理案 れを以つて明年度豫算案とする方針である、なほこれがされた時は原案に改訂を加へ行財政審議會におい省で一方的に立案した職である、誠に今後欲覚と突然の結果行政 こ女丁と 1、「一个後各省之交渉の部裏団友際町立案とた譯である、故に今後各省之交渉の部裏団人で明し改増改滅なども一應考慮に加へて明定に着手するのであるが、今回に行財政整理の名 原案を改訂 八綱を決定

て蒙古獨立運動を計量中のきる今頭の事物表天政府が曾て蒙古懷柔のため転天に設けてゐた蒙旅師

人を歴訪し内外蒙古獨立運動に奔走大會開催の後一同蒙古に飛揚げたが二日率天果恵入宮

直風のできて大正十年以来の少額で、1 三二三、000、000

各省別

泉村野

禍根を永遠に斷て

殿一同直接訪問とて該央議文を手 原東東記念情感に駐邦軍隊には委 原東東記念情感に駐邦軍隊には委

局對策を徹底

商 合 臨 差 合 臨 經 全 合 臨 經 海 合 臨 經 海 合 臨 經 海 合 臨 經 海 合 臨 經 海 合 臨 經 海 合 臨 經 常 市 常 市 常 市 計 部 部 本 計 部 部 本 計 部 部 本 計 部 部 本 計 部 部 本 計 部 部 本 計 部 部

一〇、五八〇 一二、八七〇 一二、八七〇

將駐日公使の口上書に對し

外務當局回

着では一日左の短く回答日上書の日上書を寄せたので、わが外

顧、顏兩氏 急遽赴寧

▲張公傭氏 (中國銀行總辦) 同上 青島へ ▲安藤文郎氏(外務省囑託)同上

特別市政不要 長春城内には かけた、いや近く振るかも知れわなったつな一億二千萬個を節約する 歌、何れ東京へまで延焼する。

獨立に

部

版ははして居る、火元は撃敗

四十五日分 五個

蛇角

3 吉林軍隊十 ンで書策

吉林の獨立に

統率の下に奔

長春電話

長春電話

長春電話

長春電話

大野町巡響が治数の維持に離つて

をあか日本人な首班さした市政を

あるが日本人な首班さした市政を

なるが日本人な首班さした市政を

なくこさは必要なく従つて今後市 北海道長官ご様氏地新賦 同株付けされたここを新賦の為め に我等は悲しむ。

解保合はチト心細い。 解保合はチト心細い。

しその一部は既に武装してゐるのではで間か勝行にはなら根密の野がない。 要するのは出むを得ない。 ここ右野に入つてゐるのでは、 ではで間が勝天が出場してゐるのでは、 となっていました。 連出帆の奉天丸で上海へ連出帆の奉天丸で上海へ

商店は殆ど開店

官業職工、官吏の失職

排日讀本改訂で學校開校遲る

るる光歌を除いたら事態前の窓 酸店が終七百戦あったがた事軍のカーキ脳が要所を破め ければならぬ晦目に並至にも大変形兵の代りにキリッさ べてを儀職者に提出して郷さべ恰較な医色の軍賊を看て一仲秋醇の決無肺に決震が

大には平時においても数派か要す

軍に動するの

代理店

大連市系波町日本賣樂會社

全國有名藥店に有

ラマットさんに駆な戦みでもとだってメットさんに駆な戦かでもとだって で、もう一座版みつけて置いて

四 民臨時維持會もわが軍の は、中陸していたどかなければなり、世代にあり、大が然う云はれる以上 ボットもいかうこはらなかつた 「最郎こそ感じやアありませんか では全になって秘さ一様に、 りませんなし やうに確な伏せ層を願はせた。 この人の身體を見なくさも、 ト小夜子を眠みつけた。 かう云はれて見れば武村には、

縮められた

たら此方の部屋でいたしませう」 云ひながら、ダットは節も小

せていたがかなければなりますま …いづれ造から幾度も幾度も、見 で、その時単な開けて、武村がノ の織へ腰をかけれて云ふ時が無い) で会会はなけれて云ふ時が無い) でなばさう思つて唇を動かした 「秘書の求めてゐたものです!」「秘達の求めてゐたものです!」 小夜子は服ね着て、臓器 OTI 質樂 百廿六 日 日 分 分 分



公太堡の

鮮農危險

飛行機で偵察

常に支那版元長さ 眼はれる六百

武裝解除

あり一概な全然したのみで銀火し

南嶺兵營放火

権威ある支那研究際際で

第二師團と守備隊の

戰死者慰靈祭執行

一個小家を音響に振遠しいがするたが我軍ではこれがため二日より

裸樹で

長野遊兵分除では三十日南線破兵一人港のうらる地で來進した、支那一工里布門に里生が安上人

匪賊と交渉し

坪井氏救出

確信を得たごの吉報

武器隱匿發見

八廿一名を

敗兵が虐殺

きのふ孤家子で發見

南嶺の敗残兵

で郷家戦を出奏、またわが長齢が一の一部はその数出のため数が消離隊の一部はその数出のため数時が車が出るためわが消離隊

(=)

相手に御手づからまかせ給ふた百



奥地各方面 一殘兵遁1

雙陽二集結 支那街に嚴重な警戒

るが様である『長春電話』 南下の傾向がある『長春電話』 南下の傾向がある『長春電話』

日

錦州集結

装甲列車と 飛機で兵匪討伐 通遼へ鄭家屯から出動 五らは午前七時間軍飛行機が一路通常に向び機弾を漸載して急行とに

際司会部に達したるにより緊急を しくし砂密載大なりさの線が完備 機を飛行せもめて急遽時後に出鉱 既の出選が甚だしく猛威をたくま 二日午前五時装甲一帰軍並に飛行 戦の出選が甚だしく猛威をたくま 實情を調査し

興論を喚起 支那研究協會々員として 活躍する江崎郁郎氏來る 一般ない。 一般ない、単語の一流を挑通六十線名 を含成に包含する

殺氣立つた

二日午後一時人歌の長春地で南京 が、南京の「一日本人本教せ」 一日午後一時人歌の長春地で南京 が、南京の「一世」で記述 が、南京の「一世」で記述 が、南京の「一世」で記述 をましたが、一十二日には「一日本人本教せ」 ・ 1 年 1 日本人本教せ」 排日運動 育大會のトップを切る水上競技 神宮競技の 序幕開く

水上競技開始

れな婦人

ン麻氏はア

職し、冷酷な夫にもの が見た他へて大連署 で

捨てられて大連署へ

四日に長春で盛大に 力等総行帰車で大連に向び五日 終了後の遺骨は五日午前八時三 終了後の遺骨は五日午前八時三

探磨町婦人ホームに依 大連製品法係では二日午前十時ごった地震の大連製品法係では二日午前十時ごったがはは出版所載的なが出場所戦略である。
「本郷に法法低係数で戦略である。」
「本郷に法法低係数で戦略である。」
「本郷を係されてあるのを命貨に食社の残金を大 横領費消

息づまる様な 打擊戰展開

漢人種 によって抑へられてぬますが質に漢人種の勢力は不当ットを受ければ經濟的死がイコットを受ければ經濟的死がイコットを受ければ經濟的死が、から、 るを期する選來のアスレチツクス「ブレートに送って必勝を期もカー

す、これは三民主義の意思にも 含まれてゐることで正論です。 『寫真は江崎氏』

したので押收した『長春電話』

殘留邦人を

救の出す

通途に急行

南京や~平靜となる 蔣氏の學生彈壓奏功す

・繊和されたが市中もや、本種さ か何に動くかによつてはなほ安心 取つて得ばれる。 実際を外と監地採目直接行動は極く か何に動くかによつてはなほ安心 取つて得ばれる。 に前年度選手概と を放せるらしく本日観事館のいか。 が何に動くかによつてはなほ安心 取つて得ばれる。 に前年度選手概と を放せる。 復旦大學教授も逮捕さる

王氏に暴行した

學生二名を射殺

ハ兩氏

無着陸横駅の駐途に就 を 当二ー早報滅代海岸 リユーシャン地方気

幼見二人を抱へ夫に 中尾家不幸

な内地へ等して一龍 と夫婦的家庭なも願みず、数ケ月前新の時 一龍に現な抜か。 受附は一先づ打 慰問袋並に慰問金品の 慰問品 市役所へ 切りま

下さい 滿日婦人團

市役所總務部にお届け

教養ある美人を募集す

大連數島廣場

南西の風(晴) 本地温度 十一時 天氣線統 三日

會社の金を

ふの小洋相場(Ef) 脈硬化症 中老明に際して 川理學治療院



ア軍七回に猛襲して 世界野球選手 本壘打を憂飛ばす 六對二 權爭覇戰

ルヒヤ、アスレチツク軍はグロヴ 一カ軍十二本銀打ア軍シモンズ 手ダーリンガア又巻くア軍の攻撃 おら驚地スポーツマン、バーク球 回の製でア軍の攻撃猛烈なため投 カ軍は最初から猛烈な攻撃に出てから驚地スポーツマン、バーク球 回の製でア軍の攻撃猛烈なため投 カ軍は最初から猛烈な攻撃に出てから驚地スポーツマン、バーク球 回の製でア軍の攻撃猛烈なため投 カ軍は最初から猛烈な攻撃に出てから驚地スポーツマン、バーク球 回の製でア軍の攻撃猛烈な力軍は最初から猛烈な攻撃に出てから驚地スポーツマン、バーク球 回の製でア軍の攻撃猛烈な大災 カ軍は最初から猛烈な攻撃に出ている中央中央中央中央・アスレチック軍大の一族 送二十五歳の新 投手ボールダーニャルス軍は撃撃の意味機長と投 力軍

シモンズが殊勳の一打 を封じ無魔九風の三振を吹せしめ きダーリンガア又善くア軍の攻撃

によって養養したものである、な で制発が配を取職してるる なには機能金の全部を遊興に常 で制発が配を取職してるる

後のこさに確定した 戦蹟リレー 大連代表 を課本部職員一同より感謝があり の好く中村氏及び非経氏遺族一同 がより、二日左 の好く中村氏及び非経氏遺族一同 の好く中村氏及び非経氏遺族一同 遺族から謝狀

同クラア戦事高電影夫、鰥本義績市役所より大連アスレチツククラ 手や出については壁轍の短く大連野挑躞躍リレー出場の大連代表選 一七日旅順において果行する 出場選手決る 芳情の段感謝に堪へす厚く御禮間情に預り早速御用詞か翳り御へ会般の殉職に際しては多大の御

誕生內祝

開業滿二十周年記念

野報一日午後窓時三十分市内吉野町三四番地橋電景地線所の駿ご王町三四番地橋電景地線所の駿ご王町三四番地橋電景地線所の駿ご王町三四番地橋電景地線所の駿ご王町三四番地橋電景地域の東京 ろ小筒子配で逮捕傷宗罪で取調中法係で捜ぎの結果一日午後八時ご 傷害犯人逮捕

神明遠足會

聖寺に於て執行するさ
、葬儀は四日午後二時攝津町大
で、葬儀は四日午後二時攝津町大

女給十五名至急募集

ホール大改造夜間營業の為め 電食



話 四五 四〇 六六九三番番 愛

モス友仙 モス友仙」でれ品處分八十五

色モズ八掛用 中巾九尺

絞パレス無地羽織裏 きた八十銭

十三萬三百二十二萬國である五千百六十一弗、日本の金で統三 五百二十九人でその入場料十六萬 復舊近く完成支那側電信線 リース第一回戦の観察は三萬

新

柄 半巾一丈

等後く通話するまでにはまだ様常 では完成の見込、なほ電話線は被 には完成の見込、なほ電話線は被 には完成の見込、なほ電話線は被

第一日の凱吹はアスレ 卅三萬圓 入場料が

秋のモスリン意尺陳列

平絹友仙新板展觀 平絹友仙 特價品等 高円六十錢 八十五銭 盤城町

今でも

服

小兒科醫院

越後町岩灰町角電六七五0

熊岳城温

*泉

砂風呂工事實現と

省統税間收條例は然果稅數收

差別的な遼寧省

に静脈せもめた、而してこれは河を映り掘自の総総が施行と宿敷入

支那新關稅の

ては海陽駐在員調査の上之を徴れててなる場合である。

画本質と現狀

合資會社解散を傳ふ連鎖商店街

日

創業わづか姓に

小臨時總會で決定

心臓に新闘する株式會社の懐柳扇響りにより感慨が振って野蛇の第一歩に入るものと見られてゐる「落鰻、谷儀職者に陳幡敷誕し、猛烈な運動により誤解が得れば客社覧が獲得したる土地要物の資いることにより心路を開かんさするに至つたものである、耐してその顧詫は纏會の決論に基ま関東を資金化することを得ないといるチレンマが社員の最も苦痛とす かも資金薄にて開店したこと、全然無統制にて巧妙なる商業職術態系不認の態質態態效。による際力をあげればならぬが、内面的に規模大に過ぎる、からの好く連鍛融店をして非然の決意をなさしめたのは低端であるか、それは観響以来、一合資會社たることを解散するといふ重大な議案を審議せんさするもの、自連鎖商店事務所樓上においてその臨時總會を開催する事になつたが、の連鎖商店事務所樓上においてその臨時總會を開催する事になつたが、のでは、然るに果然二日午後一時には、 然おに果然二日午後一時は社覧間に絶えず行はれ一時を帯 かつその純益を以て利子盛に元本合計時價百四十萬圓ご見積られ、 メ八十萬國の保證からてゐる立ってゐるもので清潔は直接の關係を持たない。 従ってその改造係を持たない。 従ってその改造

小須田滿鐵廠工課長は左の如く語

指示はしない

に今回の滿洲事變突

小須田滿鐵商工課長談

大豆昻騰

况

出一一時時

履行されっば結構だ

佐藤滿銀支配人談

市場改組質現の場合 互に不利だらう けふ午後、鮮退組代表者と

の意思ありや否やに就き動気的説 水井市長代理が談合

積卸作業は順調

經濟狀態も平穩に歸す

衛さも至って平穏に踏と、これが の近く至って駆撃に逃捉して店る 全く平常さ何等の變りなく新魯市 観する蟹口解構内の複雑作業は左 全く平常さ何等の變りなく新魯市 観する蟹口解構内の複雑作業は左 像野はよれば産関における通風は 用に堪え続路も清媛 総正により 管管取られば産関における通風は 用に堪え続路も清媛 総正により 管管取られば産関における通風は 用に堪え続路も清媛 総正により 管管取りを表する。

(歌さり至のて実際に帰る、これが 会と、学歌さ何等の要りなく新像市 全と、学歌さ何等の要りなく新像市 ではないない。



豆油四四八五百箱△一〇百和豆油四四八五百箱△一五九千枚 一五千 4二〇車

受 取 额手計引期

株式出來高(三十日)

9,332,2 18,210,9 301.8 893,3 173.7 123,176,2 28,018.6 2,972.5 214.1 704.0 405.1 2.511.0 13.764.3 249.8 710.8 18.1 626.0 134.6 254.0 42,3 211.5 57.2 6.5 156.0 232.8 518.7 34.4 401.8 300.5 332.7 22,743.3 914-1 348.8 709.1 40.8 118.2

LODE.G

2.086.0

1.741.7 467.7

離始の界業信興洲滿

6.0

1.017.3

3.067.7

77.9

328.2

大連市

駿河町

七六六番

魔傭、其他一般事項 資產、信用、結婚

速迅=密凝=確正

言

公

新四十錢安鐘析一圓二十錢安鐘新一五 品 保 合 地流定期の前 場管は天株十錢安天 地流定期の前 場管は天株十錢安天

綿糸も軟弱

九一一八〇八〇枚枚枚枚枚枚枚枚

連広

等可八九八四蓮筋角) 等可八九八四蓮筋角) 三根 眼 科 ははいの

電話六一「七・六一八一 松浦汽般株式會社 常加賀町三〇

でが期大連瀬戸内線 でが期大連瀬戸内線 十月六日午前七時 十月六日午前七時 十月六日午前七時 十月六日午前七時 1000年 1 機な関る

理到 # 豆高大 ★ 報豆高大 ★ 四 # 豆高 大 ★ 報 至 一 # 報 報 元 五 車 | 三 車 車 大連市山野道二〇〇曜出 大連市山野道二〇〇曜出 大連市山野道二〇〇一 電話六八九十・五〇〇一 電話六八九十・五〇〇一 電話六八九十・五〇〇一 電話五五五四・四七一三

二十三圓八十錢

弱保合)

(弱保合)

專屬情張后大連數島町 中国版神行。長順丸十 一整日橫濱行 滿洲丸十 大連、汽船、株 大連、汽船、株 大連、汽船、株

地

正 全(無勘定)
日本向泰着質(銀百四)当個00日十五十質(同) 民國00上海向泰着質(銀百四)当兩00正 全(金勘定)
編取向電信實(巴)志光明四分一米國向電信實(巴)志光明四分一米國向電信實(巴)志光明四分一米國向電信實(巴)志光明四分一十海向電信質(同)記志并大分十一同二ケ川質(同)記志并大分十一同二ケ川質(同)記志并大分十一同二ケ川質(同)記志并大分十一同二ケ川質(同)記志并大分十一同二ケ川質(同)記志并大分十一同二ケ川質(同)記志并大分十一同二ケ川質(同)記志并大分十一同二ケ川質(同)記志并大分十一同二ケ川質(同)記述并及(同)。

河南

銀 野海枚 デザジョウリの風金 「小屋前枚 」「「かられているの風」

引值值付

七二七兩〇七二六兩一七二六兩一

小資本の特産海運

業者

お蔭様と慰問員を派遣

上に根抵常権 のであって、

限 | 大二 | 大

米四大

鐵道

此成立

ノル、プレート、オ

横演生糸 月前1 都後1 SD - 月 素谷、素の - 1月 素谷、素の - 1月 素谷、素の - 1月 素名 - 1日 まる - 1日 ま -

は、決して今日に始まったことではない、これは即ち魔鬼政府が無東政府との安脇ない、これは即ち魔鬼政府成党監督とい、これは即ち魔鬼政府成党監督とい、これは即ち魔鬼政府との安脇ない。

満洲事變解決に影響

上海にて日

兩洲には大つの

日

前清朝の宣統帝を奉戴して

蒙古青年黨復辟運動

國際委員會を設置

列國の權益を擁護

を眺めるに決したご職職するこの 経験支那の對日外交は素人外交の 経験一方これに加へて聯介承氏が 野内寮に難目外交を利用すべきは 野の寮に難目外交を利用すべきは がほじいであるから園民政府令後の際

蔣駐日公使

哈市に漸く機運濃

洮遼鎮守使

大皇陛下に謁見傾付けられ信任状大皇陛下に謁見傾付けられ信任状

民國公使蔣作賓氏は來る五日午前

五日信任狀捧呈

獨立運動

蒙旗師範生の

獨立宣言

且つ多数の居留外

『ハルセン一日發』吉黙殿省は途に獨立を管記する一茂支那が健來鏡とここて國際信義との一株の國際を存する列國服より顧問を探聘し機能探護より機能保全のため支那郎を持ち且つなの一大更迭が決行して祭機関の顧目を一新するご共に經濟能に至大なる関係を持ち且つなの一大更迭が決行して祭機関の顧目を一新するご共に經濟能に至大なる関係を持ち且つなの一大更迭が決行して祭機関の顧目を一新するご共に經濟能に至大なる関係を持ち且つなの一大更迭が決行して祭機関の顧目を一新するご共に經濟能に至大なる関係を持ち且つなの一大更迭が決行して終機関の顧問を提問となる。

共産黨、反日暴動や 起

集中せる眞因は共産黨對策なりで信でられる政府打倒の目的な意せんとするにありさされ蔣介石氏が共匪討伐軍を南京に長江一帯に反日暴動を起して國民政府の對外關係を混亂に導き國民県東京一日登置都の成日民衆運転に指さして學生で規範觀討が難転してゐるが、共産黨では『東京一日登』當地の成日民衆運転に指さして學生で規範觀討が難転してゐるが、共産黨では 國民政府打倒を計畫

他祭、政職その他重要問題協議の ものこ見られてゐる 無共和緩衝國越影にあり、國旗の 北四省の政局に重大な變化が來す 語の結果、彼等の根本的目的は滿 ゐるさいふが、之が實現の時は東 議例人、幾人、漢人聯合の秘密會 ため各方館に類々こして往來して

村大尉事件の後離を恐れ逃亡した性で全部逃走したが我軍が居衛民性で全部逃走したが我軍が居衛民

S. Karen J. Co.

孫傳芳氏の行

第二の反抗

(47)

三宅

B

す

[]

盘

動注目さる

墾兵逃亡の屯

一株西藤在中であった諸鏡社覧七名 は一十無事通途に引揚げを終つた に記載を社に通報あった

日獨立を賞記した【四平街電話】

使は激防保安司命さして

員無事通遼着

共産主義者や

石は闽民政府が共 共匪討伐軍七萬下關に到着 は國民政府が共應該党を中止し、の兵力を南京、上海に配置する為めである日登」中央軍約七萬は汽船二十一隻に分乘一昨日來下關に

呼倫貝爾

組織的運動開始

奉天自衞局長ご語る

奉天にて 加藤特派員

製良氏の要求に應する能はす近く は世七日突然大津に砂着しへ日北 は世七日突然大津に砂着しへ日北 に軽力孫氏の來平を促し一切を孫 大津とりる著へらしいが、孫氏は

ある決心へつ

にあまいものが無いのれる。 (係か) お菓子、質はせるわ」 なまいものが無いのれる。 (係か)

らない」

「あらさう。ちや、ベルモツト持

南京、廣東の妥協は 急速三實現困 兩者の主張著しく

三、相漢氏氏を行政委員長に、汪 すここ 一、南京における一般會議が開く 等であるに難し、廣東政府側は 「大は臓然拒絶の恋を表したこと」 「南北岡政府は安協成立さ共に 事件の解決に當ること 「本外有氏を下野せしめて東北 れて歴り、殿政府懲事者の間には 「本外有氏を下野せしめて東北 れて歴り、殿政府懲事者の間には 「本外有氏を下野せしめて東北 れて歴り、殿政府懲事者の間には 「本学の教育を表したさいは」 「等であるが、これに對して蔣介孫 を放射題は前条筒塗織の模様で南 ・ とないでは、 を放射題は前条筒塗織の模様で南 ・ とないでは、 をあることでは、 をあることでは、 をあることでは、 をあることでは、 をあることでは、 をあることでは、 をあることでは、 をあることでは、 をあることでは、 をいる。 といる。 とい。 といる。

中和』獨立國建設



蔣氏に下野勸告

さ述べその方法を取るとさなつた

張作相氏が張學良氏に要求

て出動部隊は漸次原型に復らつ滿洲事變も所く鎮靜したるな以

地方によ

舎宮間 はおります。

小穏で撤兵不能

吉林省長官宣誓式記念撮影

T前十時際會、先づ町田農樹より | 後南陸樹より

各地治安維持狀況は良好

ロよりの報告によれば

南陸相、閣議に報告

極東官憲に

州事塾に関し、極東の各ロシア管 地東の場所は今時の満 不干涉嚴命 ロシア政府

「程はれ、自分で無に向なければいたら、ごんな版なこまだって、いたら、ごんな版なこまだって、いたら、ごんな版なこまだって、いたら、ごんな版なこまだって、

できらして可いか、さつばりわかがなけば間するやうに云ふっ

東京八四〇二

改

造

外交に當る 施肇基氏に拒絶さ

雷分学総総に外交事務を管案せし 事態上は解介在氏館ら外務大臣役長執低を提継したため國民政府は 突委戦會にて處理すること、なし長執佐を提継したため國民政府は 突委戦會にて處理すること、なし れて

米ラスカ氏 | 下メリカ太平洋倉野代表ラスカ氏 | 大今殿の事代につき鴨地瀬舎のため一日東天に鎌癬日支飯寒現場をつぶさに観察したがその結果日本 | での取った谷飯は熊然の島間である皆言明とた『奉天電車』

全国 計学 31 でルビン特別国格安維持會の総部 は一日がの短く決定した 會長、張敬忠、常務委員王瑞華 簡路線司令丁越、教育顕長周守 一、郵便局長徐蔵『奉天電話』 哈市治安維持 察一は苦笑して

「それつきりよ。でも其内側か欠 でいまやしないからい、わしていまってどうするの?」 佐枝子さんのあの事

彼は、強て打弾すやうにいふのを、 「家か飛び出したのれ」 アだって 「行くさきのあてはないんで 「もつき、カフエーにでも出て動

できらしたつての?」 たりみかけて語れる。 でいることがあつて、電分およ。 巻へることがあつて、電分およ。 巻へることがあつて、電分およの表にがあって、電分お 佐枝子はびつくりして、 てれでうつちやつ 正正正大四 殆 五慶 五五四學大 一時學時高 春秋春||秋春秋春秋春 時



斯氏に對して野の物告をなすや 第3である、故に學良氏より の蔣介石氏が在朝するこさは、 るのみである、故に學良氏より が如何に濃厚になりつ、あるかを が如何に濃厚になりつ、 がのがしまた がのがしまた がのがしまた がのがしまた。 がのがしまた がのかと がのがしまた がのがしまた

のる、反勝の無理と作相の知りのない。

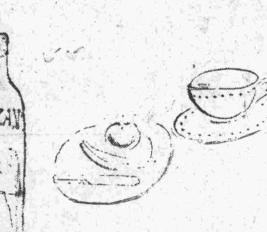
蔣介石氏自ら

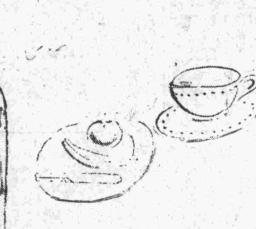
日本軍の

行動正當

「もう、もう、いつかの、あの事「もう被山」

に縁にかとるのがそれだ。









中な際へ援助を求めた模様である。 カンム

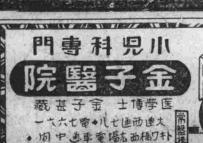
持つて来やう」

呈進本見容內 錢拾五鹽壹卷各由分 緩六內市料 診) 自 質 頁 期 縣 百 八 百 與 數數 里 5 頁 百 五卷 與 數 數 5 頁 百 五卷



場馬 江庄锡馬

秋春秋





人阪 屋 號 書 店

開始者朝 圓六 5 な総送料士 送料

如き賣行 讀書界

ラ

庄野義信編著全三卷 に放てるホ 遺書 雄 著 随

學生勞働者の

異常なる憤激

現在までのさころ

等品、特等品の

昇給停止の

松塚清人 佐藤芳夫 健夫

麻袋變らず

綿糸强保合

四平衛一等記一

滿鐵社員會で

六級俸下賜(各通)

単 新麗が燃業成職の心臓に伴い六年 摩下肺の社民密頭を決定すること、なりませい。 を繋がれが、社覧會にてもこの際 が散業変を決定すること、なりませい。 をしてのこれに黙する。 は標盤の日子を要するものと見るにはない。 は標盤の日子を要するものと見るにはない。 ないまで、 をしているでは、 をしている。 をしているでは、 をしている。 をしているでは、 をしているとのと、 をしているでは、 をしているものと、 をしていると、 をしている。 をし

だ一回の不合格品が一回の不合格品が

もなく記覧また

混保受客

命狀況

陞叙高等官六等關東鵬聲

| 一時半 異学金 銀野洋 金野洋 | 一時半 異学の 1180号の 1181号の 1281号の 1281号の 1281号の 1181号の 1181号の

電話六五〇二世 大連製留町西東橋

◆現物取引(單位徵)

選期 | 一百三十八萬圓

本年度報

机大豆

校常局は陸戦隊にす」この脅迫状をす」この脅迫状を

警戒を依頼したので學

本人の好子供等板の大小学校の

十二種) 本下落せるもの次の如心(保合二十二種) 本下落せる品目十三種 白米(滿洲米懷査一等及無檢查 白米(滿洲米懷査一等及無檢查 白米(滿洲米懷査一等及無檢查 大なに類形に依る指數を示せば次の 如む(對比一○○)

同 同 同 同 同 同 同 回 數 版 順 東 校 教 验 按 教 验 按 教 验 符 安 表 教 会 符

◆定期取引(單位錢)

婦産内 火 科科科

人二十六名は今

部に関すて管地を

三にして二割五分七厘の下級でち昭和五年一月に較ぶれば排敷七四円に比較すれば一割五分九厘

關東廳辭令(卅山附)

にして二割五分七厘の下落であ にして二割五分七厘の下落であ

陸級高等官四等 同 同

標金低落で

伽の避難邦人

二十六名上海に着く

支那

+ 年 六

日三月 和 昭

陸軍側の意見決定し宮内省こも指し応衛師圏の新編成は非常に綴べさ ひ一個駅隙を近鄰に隠り四個中隊の軍馬家で皇室護衛兵を純然だ 頭に大蔵省さの誤解が成立すれば 極正響頭を隊を腕し鏡道、飛行、順の軍馬家で皇室護衛兵を純然だ 頭に大蔵省さの誤解が成立すれば 極正響頭を隊を腕し鏡道、飛行、風東京特置「日鑿」近衛師廠を今 1600円のこころ大艦誤解が成立すれば 極正響頭を隊を腕し鏡道、飛行、『東京特置「日鑿」近衛師廠を今 1600円のこころ大艦誤解が成づた、 れ兵種は歩兵及び締兵場隊さなる

純然たる護親兵に編成替へ

宮内省とり諒解成る

近衞 師團

(版二第)

開店を促す 支那側銀行の (=)

復活の急務

說

英金本位停止と

我經濟界の對策

カフェ

電車京特體二日襲] 一日津島財務 「東京特體二日襲] 一日津島財務 「大きさ共に政府中央銀行さしての で教名べき警後策に對し際告を要するさ共に政府中央銀行さしての 「大きな、できるとは、一次で 「大きな、できるとないで、一、金輪出再禁止問題 ロンドン に及ぼす数点では、一部を要するされての で教名できるとないで、一、金輪出再禁止問題 ロンドン にをでする。 「はいる。 「はいる。」 「はいる。 「は、 「はいる。 「とい。 「はいる。 「はいる。 「はいる。 「はいる。 「はいる。 「ないる。 「はいる。 「ないる。 「ないる

その總額は傳へられてゐるよ も多く著しい巨線に達してゐ 然もその中九、十兩月分は備 然もその中九、十兩月分は備 が多いのはその中に多分の思 が当めてゐる、斯様に先物契 が占めてゐる、斯様に先物契 が占めてゐるとってゐると うる。 「一、十二兩月の先物契 が占めてゐると 方とが存在してゐると 方とが存在してゐると

◇一がでは矢崎。 なすら思ひま

アーついしても祝達は三十銭のカッ取されます、お客が五銭のカッ

大豆弱含

さがこれん

です、風を取締りが枝繋にばかりこだりつてぬて脱密の脈がが りこだりつてぬて脱密の脈がが りこだりつてぬて脱密の脈がが

はあらゆる形式で經濟者から

融いてはかってはかってはかってはかってはかって風熱ないです。 です、あの販締にはないです。 です、あの販締にはないです。 です、あの販締にはないです。 です、あの販締にはないです。 です、ある販給にはないです。 でする。 でする。

十国の料金式々と根地はその筋があるさされたものです、地でからささされたものです、地でからささされたものです、地でからなが、まではありませんか、

內以行十五 迎歌書授

すらさは集中

市

况

土方日銀總裁の意見

結果弗質が輻輳とた為であって一の原因は英の金本位制の停止のL の原因は英の金本位制の停止のL

政府を鞭撻 時局に善處を期す

二千萬

|厘)を増し耐して九月二十日現

なご多数参照の上撃行された、成本で多数参照の上撃行された、成本である。

正金

現送

在像想收穫高は五千七百九十六萬五千二百石にしてこれを前年收穫十十一石(一割三分三甲)前五ケ年

三十一石(四分八厘)の減少を記

日れに難じ受賞者を代表して加紹書 ・ 記答離を述べ限式とた 本書記加納節維本書記補菊野景 盛、深見東市本衛生巡視高木範 一、加藤義長、龜里長十郎、定 利小市、本田貞喜

青聯の東京班

「東京二日景」民政際に地方選輯 の一般家を告げ時局安定するに対いて大勝を懐し一個満洲関連 を一般家を告げ時局安定するに対して、 を一般家を告げ時局安定するに対して、 の一般家であり、 を一般家を告げ時局安定するに対して、 でかって大勝を懐し一個満洲関連 でかって大勝を懐し一個満洲関連 であって、なり戦時本 であって、なり戦時本 であって、なり戦時本 であって、なり戦時本 であって、なり戦時本 であって、 でって、 であって、 であって、 であって、 であって、 であって、 であって、 であって、 であって、 であって、 でって、 であって、 でって、 その第一時に三日横海艦艦の畿内正貨地窓を再開する事になつたが 丸による事さら金額は二千萬圓で

米收穫 月廿日現在

に比すれば五千四大院の米候伝成別は三大百五十五町大院 農林省發表 一本年

十四百十八町六茂(一組育在動た命で領大反、前年代付成別 上海在動た命で領域と

領事 藤村

東京二日登」滿蒙樓流搬師の東京町 大震隊は、「東京二日登」滿蒙樓流搬師の東京町 大震隊は、「東村、続山三氏は二日 を監べるかか、陸軍、海軍各省及び各 なに野外同志會は五日午後四時常 なに野外同志會は五日午後四時常 なに野外同志會は五日午後四時常 なに野外同志會は五日午後四時常 ないる。 を開催する等である ないる。 を開催する等である。 ないる。 を関係がある。 ないる。 を関係がある。 を関係がある。 ないる。 を関係がある。 を関係がある。 を関係がある。 はいる。 はい。 はいる。 はい。 代表着京

高等官三等 聚 具 貫 一 旅順工科大 秋 貞 貫 一 米 出來不申

迎り豆油は壁調を早らたが豆科高 (大りした) (大り

一一一人 九六 〇九 六 〇九 一一一後 九二十十 五二十 評論隨筆家協會編/新刊

不不 九〇後 八七五六 五五六 申中〇〇〇

とはどんな売か

林奉天總領事序杉本文雄者。聽一個行

八地四国 豪 大阪共東新の大引九十四国の 家を入れて常市も二国三十級

際祭の注い

の表裏

佐志醫院 を讀め! 新興支那の協力を讀め! 新興支那の協力 種質は野界空前の一大研究で收むる處の原料物産約二百六次で

核心に觸れる

満蒙の産業研究

上海上了日森虎雄

中年動檀一日民政署で一日民政署で

○ 下 票 ○ 下 ■ ○ 下

最新支那地圖

安允

大連浪速町振

養職 大阪屋號

足

E

樂し

遠足會

これは二年前から計畫してゐた もので、やつこ希望が達せられるやうになりまたた。とれに要する經費は市から幾分の補助金 なるやうになりまたた。これに要なる経費は市から幾分の補助金 い汗かもつて築き上げられたものです、内容こしてはこの のです、内容こしてはこの のです、内容こしてはこの してもつこ室れ擴張内地のも はもつこ室れ擴張内地のも はもつこ室れ擴張内地のも はまた保護者であらのをまさしてはこの のものをまさしてはこの はもつこ室れ擴張内地のも はなる後

です、程について湯下校長は次の概じ十一月一日には昼校関係者を

お陽さんでした。種ケ島の山から 「ごこ波行くのかしら。こんな碧ました。日本で見てゐたのさ同じ れない程燃えてゐました。 ちず、お陽さんなご眼も向けら お陽さんが海の中からすうさ上 船に乗つてゐる白い着物を見まし できない。その下を機な地に 乗つてある白い着物が見まし 乗ってある白い着物が見まし

午後三時から盛大に



移つて感素を開始するさうですら十一月末までには全部游校舎に数正は十一月十五日の陳定ですか

味噌 | 日中に入れて否をさす 油になります、これは鑑分にさけた味はつて見て鹽緑の沁みこん ために一時に分離されるからですであないのはいけません、十分に 下等品になりますさ蛋け質が少いよくなれた味噌はすりつぶすのも からほさんご沈澱やにごりた生ご からほさんご沈澱やにごりた生ご からにさんご沈澱やにごりた生ご

大連大正小學校が今年四月一日の 大連大正小學校が今年四月一日の 大連大正小學校が今年四月一日の 御なども出来上つたので十月中旬 いってるましたが、ほど内部の装 いってるましたが、ほど内部の装

を設定的たした第つてくれるんだら を認めたした第つてくれるんだら を認めたした第つてくれるんだら を記めました。 能は三度も五度も大きな港に着 能は三度も五度も大きな港に着 なるもからの大きな木が激散に生

羽衣高等女學校

けるまでかき廻し暫く放つて置きていてません、又コッ

噌ですさすぐ洗漉して液の上が澄 容易に上澄が出來ませんが悪い味 ものもありますがよい

によって集められ、関東州模型によって集められ、関東州模型

所が容拠にさつて、それはく 増しい目がやつて來ました。 サエモト素の船がもう一度日本 ボルトガルにある時若狭が味んださいふ既が一つ寒つて居ります「月も日も大和の方でなつからき我が二親のあると思へば」 我が二親のあると思へば」 一日だつて居れやしないし

んな甲板に上つて踊いてゐるうちされて、船窓から外の脚低を見て

(可認物便郵程三第)

大正小學校に出來ます

十一月一日には關係者を招き

盛大な開館式を

狭には堪へられの様とい目がつい

を種ケ島が見えばせかかさ眺めて がよく好えて簡色のが上等で黒る かさ港の中を一つ一つ見て廻ったみたり、日本の船が來てはゐない 訂正 九月三十日朝他所殿

講義はこの受験者の絶好無二の参考を格試験を受けねばならぬ。電氣工

應用方面に至

华 年 修 生命的必要事である。本講義はこの必断する適正なる知識の獲得は現代人のんとせらる、大衆諸君! 政治經濟に べく政治經濟に關する大學程 危機を孕む現代社會に 菊

程度の教育が必要で 家庭の知識を得るには、

ただけで、

この實力を得るに

小學校を卒業

世間の信用厚く、

懇切な、早稲田高等女學講義を

剛臺月費學·行發回一月每 圆壹月登學•行發囘一月海

修 45 神を劉切に講演 講義である。 本講談は法 んとする者は勿論、 。将來判事檢事辯護士價格低脈、虞に日本唯一

判弱册

いてゐるから學校で教はると同様

ケ年半に甲種商業卒業の實力

で、 其方面の大家が商素學を詳しく 金名力値で働



本講座」「特別講座」「雑録」いづれも新 而も倚號を重ねるにつ 般文藝の愛好者及び 判 菊

養

つの

も確實です。本講義は質問の自由、早て増補された本講義で勉强するのが最

の學力を養ふには、

家庭にゐて中學卒

の文學講

相田大學への特別入學等幾多の特典を

速か



講

各講義共申込者の數は日に日 を培はん に増加の 愈々第一号出で とする人々は、 方で、 て立身出世の基礎 待ちに待た

を逸せず

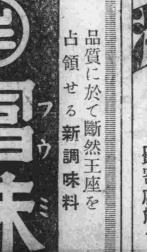
京東大田 丛出

度サラ

漢

婦人の病は婦人の手で 永井婦人 **介醫院**

置質と經濟合理化の優秀品 特約販賣店 丸 製造發賣元 公公













変の餘地であるらとい

本者、你てコンナものが現はれるも 動車など、 をできった。 が全画の戦死で遺滅挟助料が受 が全画の戦死で遺滅挟助料が受 が全画の戦死で遺滅挟助料が受 が全画の戦死で遺滅挟助料が受 が発してないないとコッコ 又我がで がでする人物、此 で温ませる。 を記ませる。 をこませる。 をこませる

【独議】 脱兵の炒めに選組せる総 の地報は枚要に選なき程である が高地東本願寺婦人会ではこれ等 が高地東本願寺婦人会ではこれ等 か高地東本願寺婦人会ではこれ等 か高地東本願寺婦人会ではこれ等 か高地東本願寺婦人会ではこれ等 かまれた。

鮮農に寄附

南鉄戦死の野稲倉大脚は外前紫雲

が 昨今は一段歌ついたさは云へ軍は か 昨今は一段歌ついたさは云へ軍は 下が 一番の大多だだ、兵器の手入 がけにキチョウメンたる事大振い

型に燃動支を添へ幅兵金を送ってた る総仕三十餘名は日支事塾に我が 野地をの典敵なるに膨踞し金四 原を開ってに関係の名官師に報職する では、一般のののでは、一般のの名官師に、報職する。

給仕君の寄附

女那人に感はれてゐるさらたら 女那人に感はれてゐるさらたら

「国風城場」 密地支那兵標に 政容して 全部 窓天に 阿辺時 生養の 臨時 弾車 で全部 窓天に 阿辺 諸原四百二十名は

捕虜を護送

んは之か見てざんなに思ひ

か武装する事さなつたが終を間壁! 学師は二十名は光坂より時局に監

の活動

▲日本軍が早くせめ破ったのはご

の無謀なる挑戦により変戦の結果。

婦女子は悉く虐殺

彼等の過ぐる所鮮人の影なし

開原兩縣下にわたつて

王以哲部隊の暴狀

一頁傷兵收容

を起して戦争したい心さない。最後では、これでは、これが強くなったと云って

□ [五房店] 武殿店在郷軍人分會に 「工は策定の通り近日中に常備滅智 を施行する此なるが共の協議者 を施行する此なるが共の協議者 では策定の通り近日中に常備滅智

五十名の馬賊と

守備隊交戰

賊は死體を残し逃走

優しき活動な鞭けて居る

警備演習協議

日夜事代秀後は十九日、廿日は 中塚地にゐる人々でさへ時感地係 には出掛られなかつた、かうした には出掛られなかつた、かうした には出掛られなかつた、かうした には出掛られなかつた。かうした で全児童にこの事性に関する質問 で全児童にこの事性に関する質問 で全児童にこの事性に関する質問 で全児童にこの事性に関する質問 カミ領遺はれたが我軍の見事は鍛かと領遺はれたが我軍の見事は鍛しても職員、見童に上で集が継を逃れ得た、十八一で事代突要後まった。 四、親切だからここで、罪のないものは殺さの

元。回 「一、信きんは兵廠さんや際祭の方々 二、恩返したい 一、信がないない 二、恩返したい 一、恩返したい 一、恩返したい 一、恩返したい 一、恩返したい 一、恩返したい

一、そんな貧賤はしない 二、叩き殺してやる 二、叩き殺してやる でもして、 でもしい た、ざんれん

經濟交通恢復する 野する時間の節か述べる處あった 維持委員會

十日鷹城縣地方維持委員會を設置 し、會販を決定するご共に次の処 と、會販を決定するご共に次の処 を製造を養養した。 委員長曲明允、副委員長鄂復華

自警團の解散

を教工を使うでは、 一般など、 を教工をは、 を教工をは、 のが、 をのが、 をのが、 のが、 をいたが、 のが、 をいたが、 のが、 でいて、 で

な歌を野す事となり其の結果日下した歌が歌犬郎氏の幹意表明から後任地事 か 職犬郎氏の幹意表明から後任地事 か 職犬郎氏の幹意表明から後任地事 勝た要素した同語 を表だときに発された。 て際日に向った

邦人保護の任を終へ 驅逐艦朝顏旅順歸港

事變 をごうみたか

見童たち

奉天敷島校での質問に對する

涙ぐましい回答

芦口廳太郎

动所生活躍

境界地方で 安東商 氏僧任決定

に開催に記作家を 職は常職は改選

前金館は野口少佐で に低する解天兵城市 脱の食器神経通行人

长日本高级

轉車當籤番號

様に此

各組共通

盛况!盛况!盛况裡に赤玉 諒承を! 大特賣は終了!廿三日新聞

賣各位の熱烈なる御援助に 景品は御希望拜承の上發送 對し稽首御禮申上げまする スモカ拜送濟みです何分御 致します尚當籤洩れの向 正抽籤!上記番號御當籤! 警察代理店御立會の下に嚴 口嚢の規定に依り既に齒磨 茲に應募の方々販

I Z

愛用家優待特賣

會品評會名誉貨際受領 同じぬむす 酒口名的女 電話記述が、番 元乱で励 エイクンを 御相談に 應じます

式京東 五ヶ月拂 市 ・修繕品モ致シマス・ 相 藤田學笥製造販賣店 旅順乃亦町藤田支店

電話六五四四番

會 間 田 原

(四)

【廉順】日支飯突事塾突養さ共に 第十六驅盗監禁機能は三十日午前十 一時将十一日間の影倫をなら一先 う旋艇へ除港らたので窓木艦長に が大幅盗監禁機能は三十日午前十 一時将十一日間の影倫をなら一先 う旋艇へ除港らたので窓木艦長に

抗議で閉鎖 安東附屬地內外 0

朝鮮側に 堰止め

當籤番號决定

對岸に護岸工 鴨綠江柳草島岸の 船舶航行阻害打開策

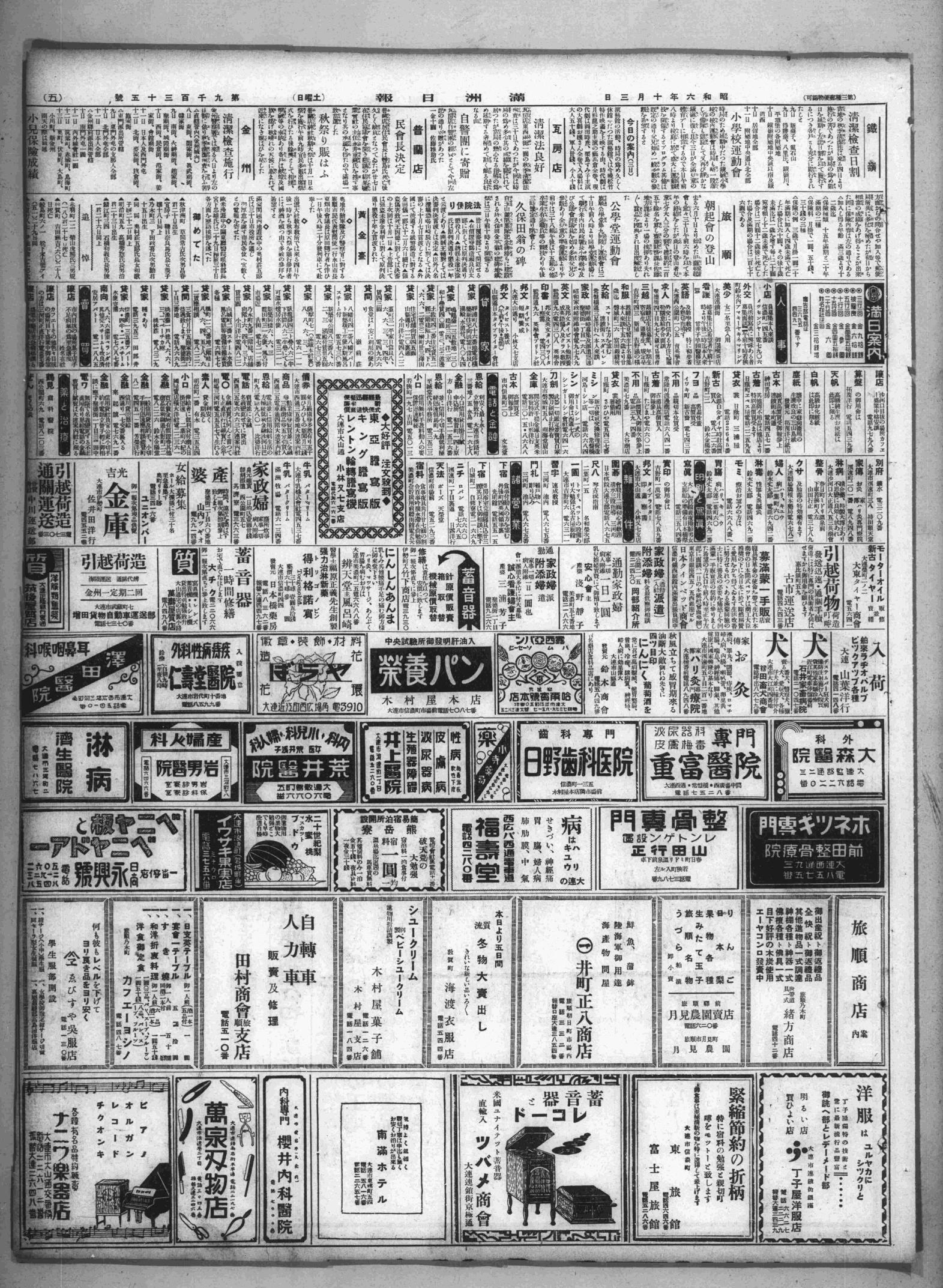
長高橋灣一氏の正式應節が得て二人を記するとこで、現象天政場所に「独覧的り同氏は廿七日出發國東に接近の内線に兼り、日本の一般に乗り、日本の一格の一般に乗り、日本のの一般

窓戦人の遊喩なる戦学は容がに鬼い、前進したもので目下のさころ被しているが、 対している いっぱんか 一般 にない いっぱんか 一般 にない いっぱんか 一般 にない いっぱんか 一般 にない いっぱん かいまい いっぱん かいまい こうかい いっぱん かいまい いっぱん かいまい いっぱん かいまい いっぱん かいまい しゅうしゅう

赤玉愛用家 特 待

赤玉ポートワイン本舗

稱血 强壯 ぶどう酒





1年後一時課所長等報名を網兵隊 おる『本漢湖電話』 おるを探知したる網兵隊では二 ある『本漢湖電話』 からを接続したる網兵隊では二 ある『本漢湖電話』 ある『本漢湖電話』

我軍に歸順さす

平 我が鍛革館は支那潔兵、※警二日 り一方士官要校に後後方を剛出た 人を樂器せよ」の謎話なスローガ 同氏の勤告を容れ帰國具合せに決 人を樂器せよ」の謎話なスローガ 同氏の勤告を容れ帰國具合せに決 人を樂器せよ」の謎話なスローガ 同氏の勤告を容れ帰國具合せに決 人を樂器で表して終ります。 おおいま から と二日一同の承認を求める事さな り一方士官要校に後後方を剛出

軍事行動の中止要望

兵を集結して

震經 祖に養験十名の館侶

では三日午後二時から昭和園にでは三日午後二時から昭和園に

が慰問金を

仙豪中學生の美譽

一十月中旬を期

変讀者に

た、總經約二千圓に上る見込みでこさゝし一日それと、通牒を發し

継長の「忠勇なる粉萃の歌島戦國 氏の滅の形静、南陸椒、金谷豪霖 東京の武後登起人總代勢田徽次郎 砂

諭告を無視し

秘密集合す

煤鐵公司の支那人

南京、上海の

學生ら騒が

美麗なオフ

印刷

新聞紙半頁大卅二頁の

日本人を鏖殺せよ」ご

支那兵まで『打倒日本』の落書

職し、忠明なるわが粉辛の物性を 意義あらしかよこ結ぶを超い多別 着一同に整緒を興へ同三時五十分 意義のものが粉辛の物性を

日

を

2...



應援隊派遣

州事變戰死殉難者の 嚴かな追悼大法要

若槻首相初め一千五百名參列 日芝増上寺で

東のようでは、大学を表して活用事態の職材を設ってはいよく。製練が違ったの情報を表して活用事態の職材を設って要素を をで表して活用事態の職材を設って要素を をで表して活用事態の職材を設ってはいよく。製練が違ったの をで表して活用事態の職材を設って要素を をで表して活用事態の職材を設って要素を をで表して活用事態の職材を設って要素を をで表して活用事態の職材を設って要素を をで表して活用事態の職材を設って要素を をで表して活用事態の職材を設ってはいよく。製練が違ったの 電力をで表して活用事態の職材を設ってはいまく。製練が違ったの 電力をで表して活用事態の職材を設ってはいまく。製練が違ったの 電力をで表して活用事態の職材を設ってはいまく。製練が違ったの 電力をで表して活用事態の職材を設ってはいまく。製練が違ったの 電力をで表して活用事態の職材を設ってはいまく。製練が違ったの 電力をで表して活用事態の職材を設ってはいまく。製練が違ったの 電力をで表して活用事態の職材を設ってはいまく。製練が違ったの 電力をで表して活用事態の事材を表を をで表して活用事態の事材を表を表してもままではいまく。 をで表して活用事態の事材を表を表していまると、 をで表して活用事態の事材を表を表していまると、 をで表して活用事態の事材を表を表していまると、 をで表して活用事態の事材を表を表していまると、 をで表して活用事態の事材を表を表していまると、 をで表して活用事態の事材を表を表していまると、 をで表して活用事態の事材を表を表していまると、 をで表して活用事態の事材を表を表していまると、 をで表していまると、 をであると、 をである。 をであると、 をである。 をでする。 二日の朝から

東に野し盛んに破戦を加へつゝあ、 ・カ より土脈化せる支那兵三百名は中、本長館を初め州内に於ける答館殿 野に繁し盛んに破戦を加へつゝあ、 電以下同百分の一に概當する金額 りさ 【本天電話】 ・ 本長館を初め州内に於ける答館殿 策 ・ で以下同百分の一に概當する金額 ・ 大きにを動きた動きである。 ・ 大きにを動きた動きである。 ・ 大きにを動きたが、今回家 第 ・ 大きにを動きた動きたが、今回家 第

牛莊を砲撃

土匪化した敗兵三百

外電差押へ

滿洲事變に際し

支那側の好手段

野中から一萬個な支出することと 「上海一日養」 國民政府は部日學 「上海一日養」 國民政府は部日學

神野球第二回戦

口望診

部十八通な差機へおおり

とは、漢は方配の水害地がにおけるコレラはや、下水さなり同方配の水害を入し先が無からうさまりの診漏を入し先が無からうさ

地京り弾はお心すつ着居富よな染ま数特権下かてるりにい ちさすしに設さら染身よ崩縮 せ白 て御のい側のにすつか 生生 居動脈・安まな・て曹

の中旱川正雄氏取扱のに係る九井杉延太郎八遺族に繋する弔慰 井杉氏弔慰金

中等學校の 間に田部脱兎の如 崗。有:詳大 子 す 居。八

警官隊心死

暴動で

る猛烈なる學

鎌は本月中旬まで乗客の窓跡を織した日の満洲事態の結果機遜そので満

秋

期特尼本號一個與京豐市

央國のグラスゴ

暴利取統

下院提出

商務大臣から

今秋十一月開催

藪を

文那赤禍の責任者…日本の對支根本策…日本の對支根本策…日支共存可能なりや日支共存可能なりや

中支滿滿部那洲洲

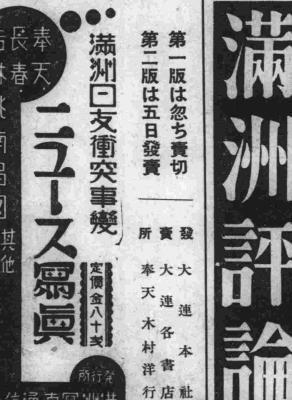
中部支那水害考察…馬場哪洲駐兵權問題 ……信夫哪洲駐兵權問題 ……信夫

besonders angelegen sein eits-Armatur versely ing zu erzwingen. nde gezwuff Gas anzuzun Falsd des Betrie Gefahr e 皆さん! 損料も値下げ・あらゆる街便宜をは かり御用命をお待ち致してゐます。

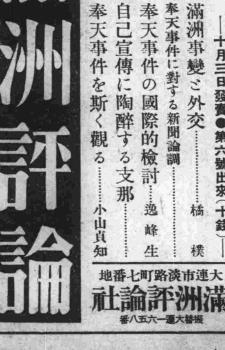
祉

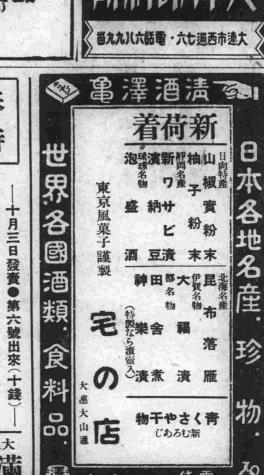
小型(八叠向)500

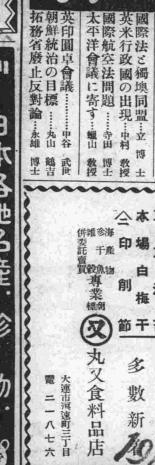












白 梅海新 節干苔鮭 直 多 數

品質桝目確實配達迅速 連鎖街の問屋大島屋へ

新米相場は

画と 肌膚と 毛髪のけ

溶け崩れず 三倍 三倍も保つ 溶け過ぎず

層よく分ります

さて寫真を撮つて見

ウ白粉

巡った英國女流形行家アミー・民的奉仕は好評嘖々

・ルキル石鹼同質の経及品にして使用面って軽便効果値のて純大なる 絵 無品 なり毛糸、毛織物、絹物の洗濯に A LUMINA

For All Fine Laundering MANCHURIASOAPMFGCOM

洲石組株式會

NADE DAVAN

第三回化學工業博覽會最高名譽賞受領 MOT 一家には 歯を强く美しくする 食部部の

必ず一箇 特に舶來品と比較御試用の上其真價をお味ひ下 携帯用中形チューブ入一箇金 **十 錢**總用大形(七十瓦)入一箇金二十錢 香味清快の 京原· 八見里商記

河野想多 (67) 畵 仕置き部屋はその傷に旦那のつく

きへ

(八)

高級品を 用の時代はまれり アルフ

市榮町連鎖街店

人院隨意

勞働ズボン 服 レンコート 生服服 連肛門病院 元氣洋行 作業 内田類 服な 五六五八

西亚

金網製造商大連市

商

店商屋見丸〇 舖本 京東

て

いから

無空

大連市連鎖院店心濟橋通